

平成24年 5月16日

# 平成24年3月期 決算説明会



**本資料には、当社及び当社グループの将来についての計画、戦略、業績の予測に関する記述が含まれています。**

**これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が予測したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。**

**そのため、様々な要因の変化により、実際の業績または展開は、記述されているものと異なる可能性があることをご承知おきください。**

# 1. 決算説明

**管理本部長 鞠谷 祐士**

■ **連結売上高** 4,893億円（前期比+8.2%）

： 海外現法の手持ち工事が進捗したことにより、完成工事高が増加した。

■ **営業利益** ▲79億円（前期差▲137億円）

： 工事採算の悪化により、工事損失引当金を積み増した。また、販売用不動産の評価損計上により減益となった。

■ **建設受注高（個別）** 4,032億円（前期差▲413億円）

： 民間は前期並みであったが、官公庁工事は大型工事の受注減少により、全体では▲9.3%となった。

# 決算概要

単位：億円	23/3期	24/3期			
		期初予測	実績	前期との差	予測との差
連結売上高	4,524	4,635	4,893	+368	+258
営業利益	57	89	▲79	▲137	▲168
経常利益	72	100	▲66	▲139	▲166
当期純利益	35	50	▲198	▲234	▲248
建設受注高（個別）	4,445	4,510	4,032	▲413	▲477

# 赤字決算の主な要因

## ■ 建設事業利益の減少

- ： 受注時採算の悪化と手持ち工事の採算回復が進まず、工事損失引当金 47億円 を積み増した。

## ■ 不動産事業利益の減少

- ： 長期保有不動産の流動化を図り投資効率を高めるため販売用不動産評価損 73億円 を計上した。

## ■ 特別損失の計上

- ： 投資有価証券評価損 33億円、減損損失 24億円等を計上した。

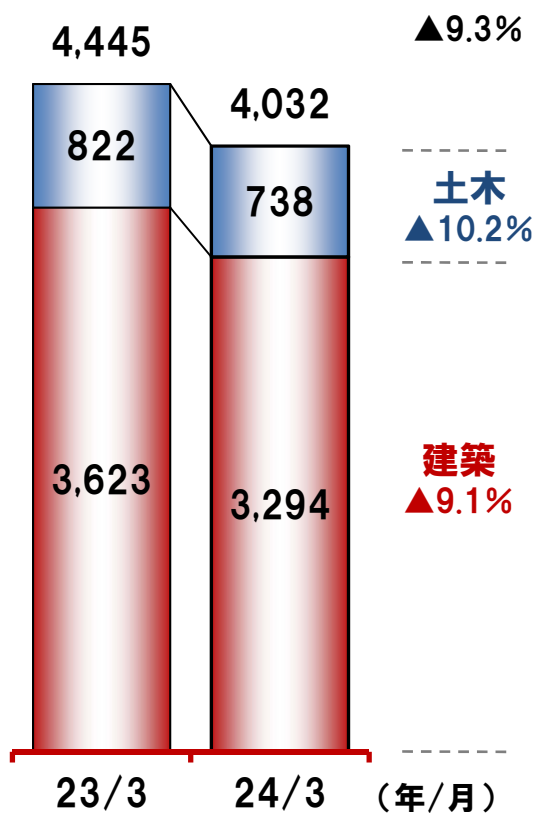
## ■ 法人税等の増加

- ： 税制改正等に伴う繰延税金資産の取り崩し 59億円により、税金費用が増加した。

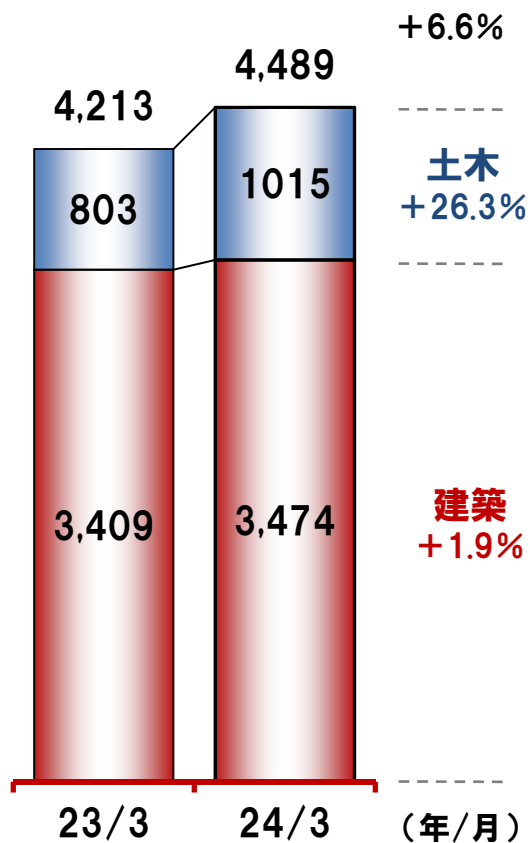
# 【個別】建設事業の業績

(単位:億円)

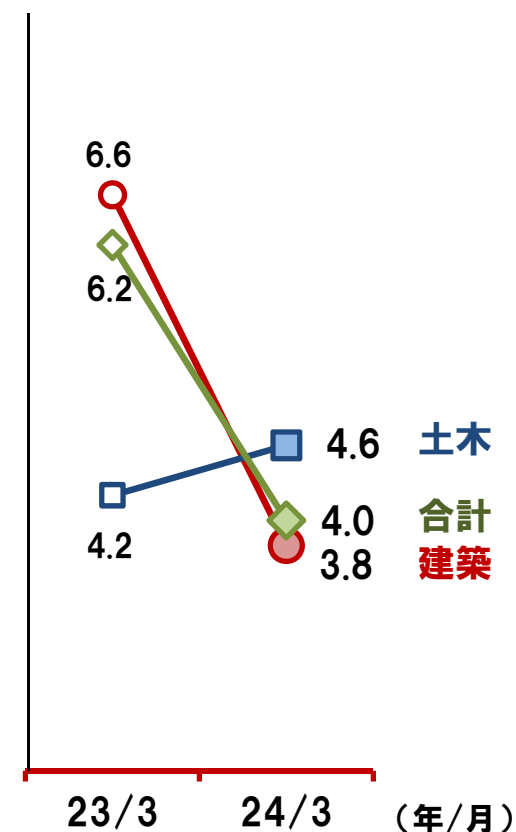
## 建設受注高



## 完成工事高



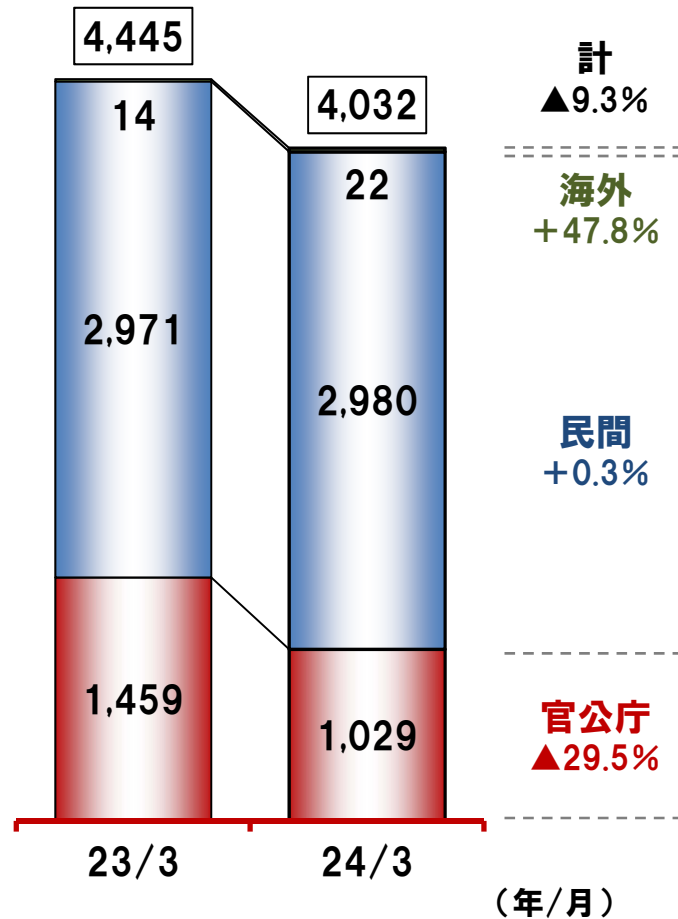
## 完成工事利益率 (%)



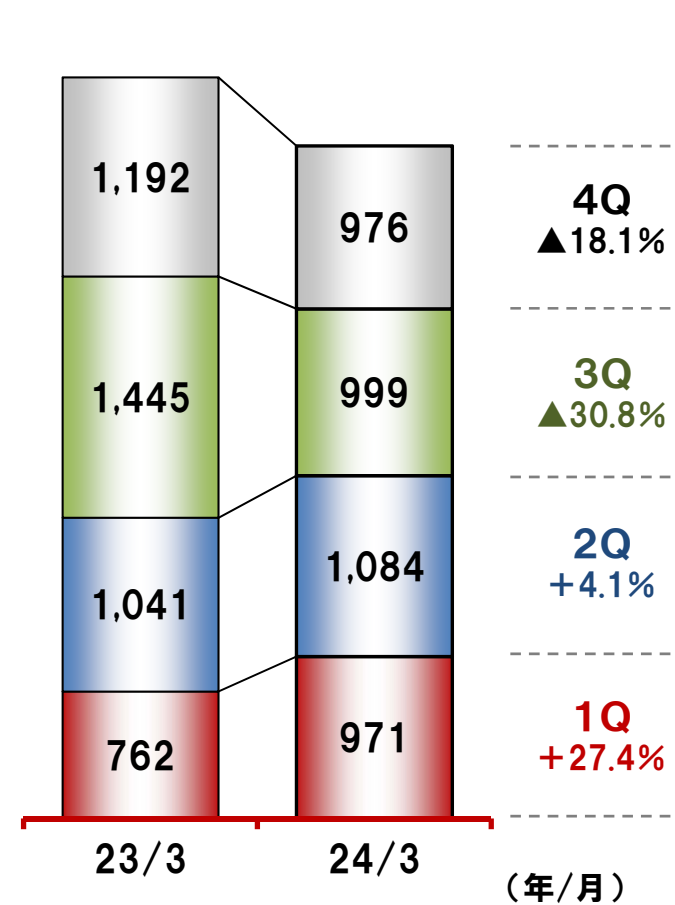
# 【個別】建設受注高の内訳

(単位:億円)

## 発注者区分別



## 四半期別





# 主な受注工事

	発注者	工事名
建築	森トラスト	京橋トラストタワー
	ヤマト運輸	厚木物流ターミナル
	野村不動産、三菱商事	船橋北本町プロジェクト
	大妻学院	千代田校舎建替
	早稲田大学	早稲田キャンパスD棟
	雪印メグミルク	乳製品統合工場
土木	宮城県	災害廃棄物処理業務（亘理処理区）
	中国地方整備局	駟馳山バイパス福部砂丘トンネル
	関東地方整備局	中部横断醍醐山トンネル

※敬称略、工事名は略称

# 主な完成工事

	発注者	工事名
建築	中野駅前開発	中野プロジェクト
	花咲団地マンション建替組合	花咲団地マンション建替え事業
	熊本市	熊本駅前東A地区再開発
	由利本荘市	文化複合施設建設
	麻布獣医学園	麻布大学新3号館他建築
土木	大阪ガス	MS山岳トンネル
	首都高速道路	子安台換気所・トンネル・橋台
	東京都水道局	江北給水所 既存施設撤去及び仮設

※敬称略、工事名は略称

# 1-1. 財務詳細説明

# 【連結】グループの状況

事業		国内子会社	海外子会社	17社
建設	建築	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸田リフォーム(株)</li> <li>シプコー工業(株)</li> <li>(株)アペックエンジニアリング</li> <li>千代田建工(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラジル戸田建設(株)</li> <li>戸田建設工程(上海)有限公司</li> <li>タイ戸田建設(株)</li> <li>ベトナム戸田建設(株)</li> <li>フィリピン戸田建設(株) ABTD(株) ※</li> </ul>	10社
	土木	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸田道路(株)</li> </ul>		1社
不動産		<ul style="list-style-type: none"> <li>千代田土地建物(株)</li> <li>八千代アーバン(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ戸田建設(株)</li> </ul>	3社
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>戸田ファイナンス(株)</li> <li>千代田スタッフサービス(株)</li> <li>東和観光開発(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※フィリピン戸田、ABTDは 当期に設立</li> </ul>	3社

# 【連結】グループ業績概況

※消去前の数字

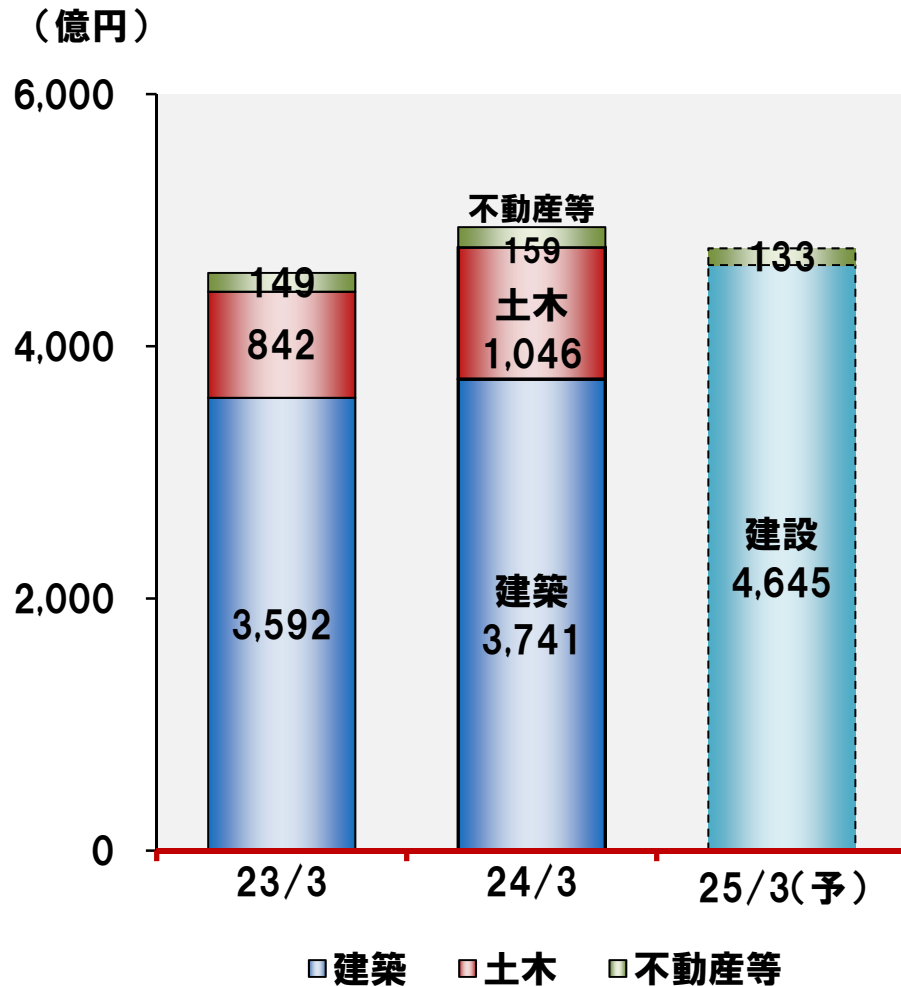
24/3期 単位:億円	戸田建設		子会社計		24/3連結		連単 倍率
		%		%		%	
売上高	4,573		581		4,893		1.07
売上総利益	127	2.8	31	5.4	151	3.1	1.19
一般管理費	209		26		231		
営業利益	▲82	▲1.8	4	0.8	▲79	▲1.6	—
営業外損益	10		0		13		
経常利益	▲71	▲1.6	5	1.0	▲66	▲1.4	—
特別損益	▲68		▲0		▲63		
税引前当期純利益	▲140		5		▲130		
法人税等	55		7		67		
当期純利益	▲196	▲4.3	▲2	▲0.4	▲198	▲4.1	—

# 【連結】連結損益計算書

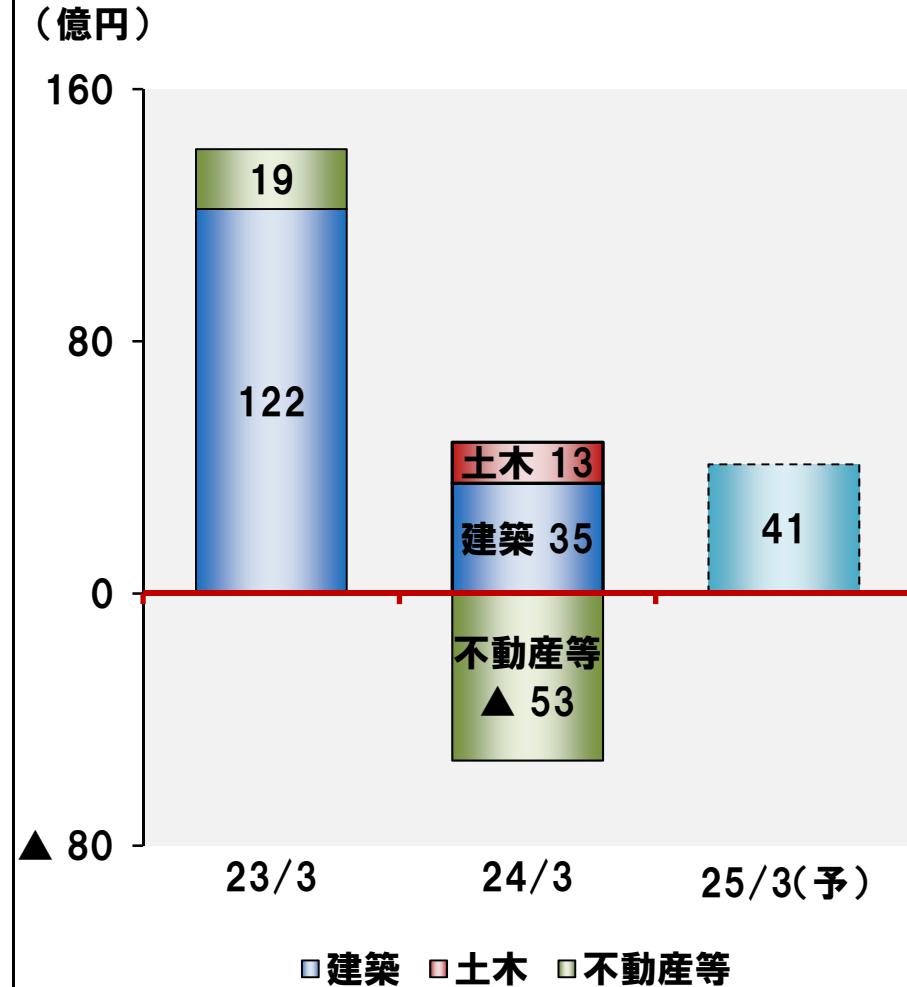
単位:億円	23/3(実績)		24/3(実績)		増減額	25/3(計画)	
		%		%			%
売上高	4,524		4,893		+368	4,778	
売上総利益	305	6.7	151	3.1	▲153	286	6.0
一般管理費	247		231			245	
営業利益	57	1.3	▲79	▲1.6	▲137	41	0.9
営業外収支	14		13			11	
経常利益	72	1.6	▲66	▲1.4	▲139	52	1.1
特別損益	▲4		▲63			0	
税引前当期純利益	67		▲130			52	
法人税等	31		67			25	
当期純利益	35	0.8	▲198	▲4.1	▲234	27	0.6

# 【連結】セグメント 売上高・利益

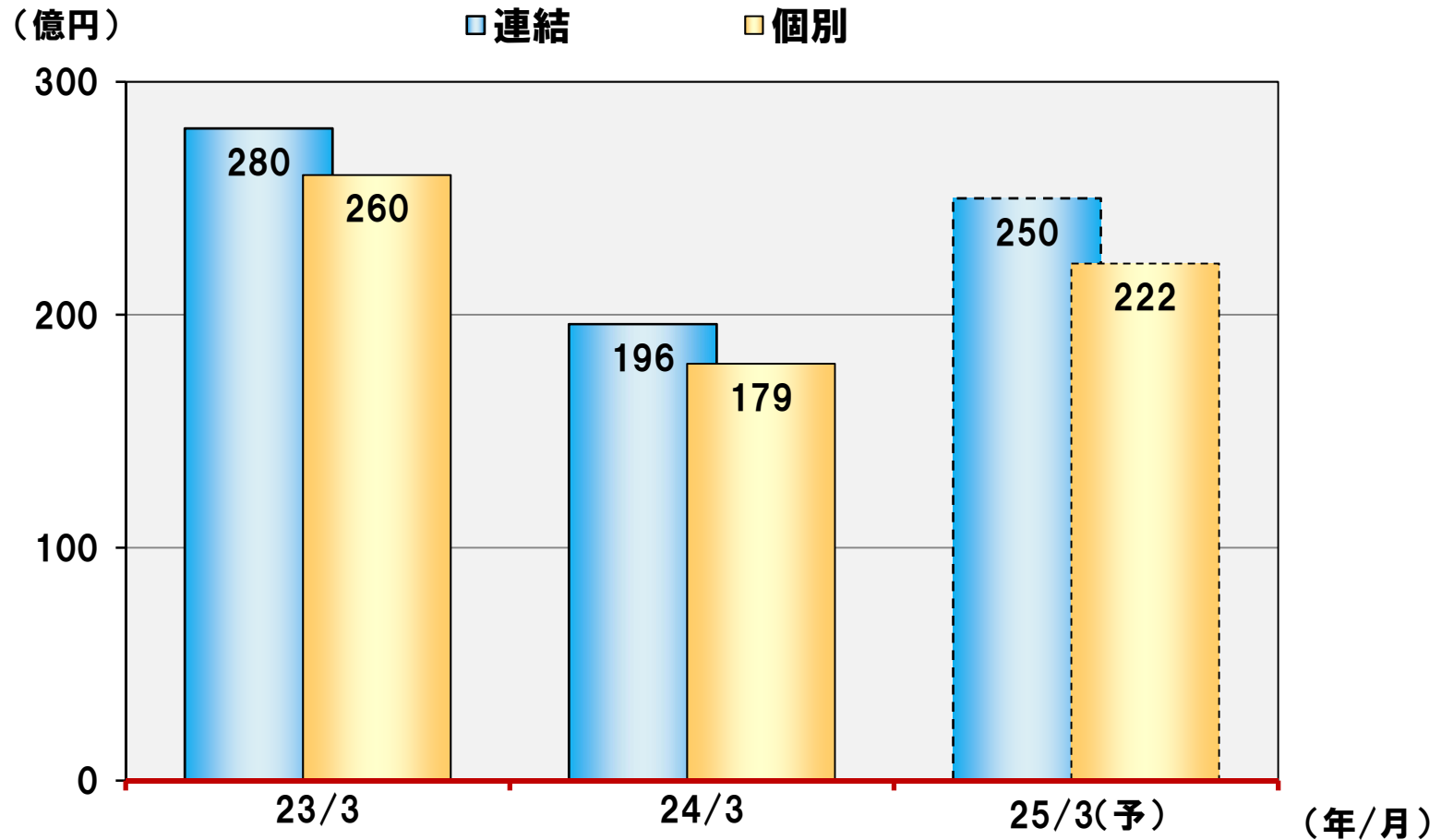
## 売上高



## 営業利益



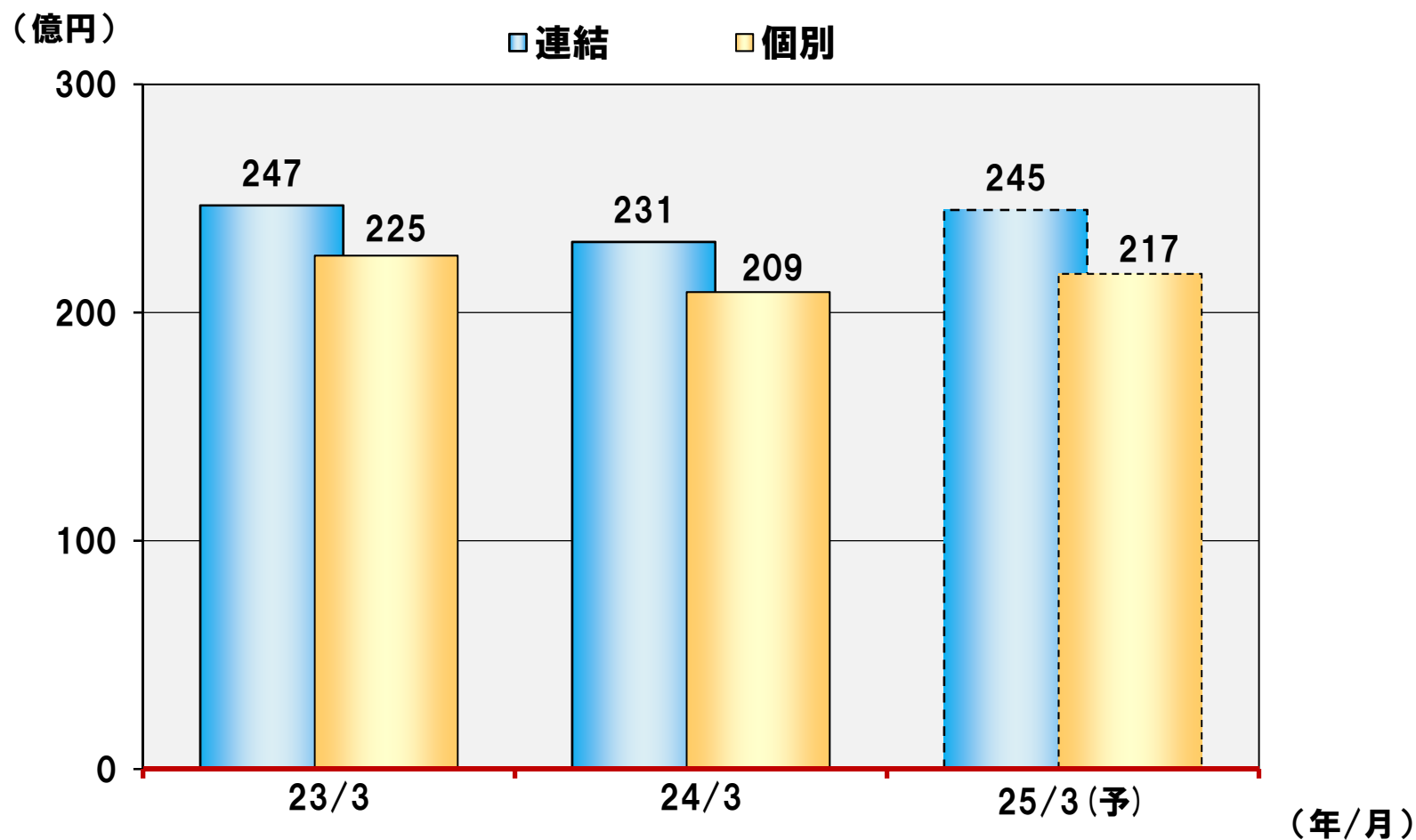
# 【連結】完成工事総利益の推移



<b>完成工事総利益率</b>	6.4%	4.1%	5.4%
-----------------	------	------	------

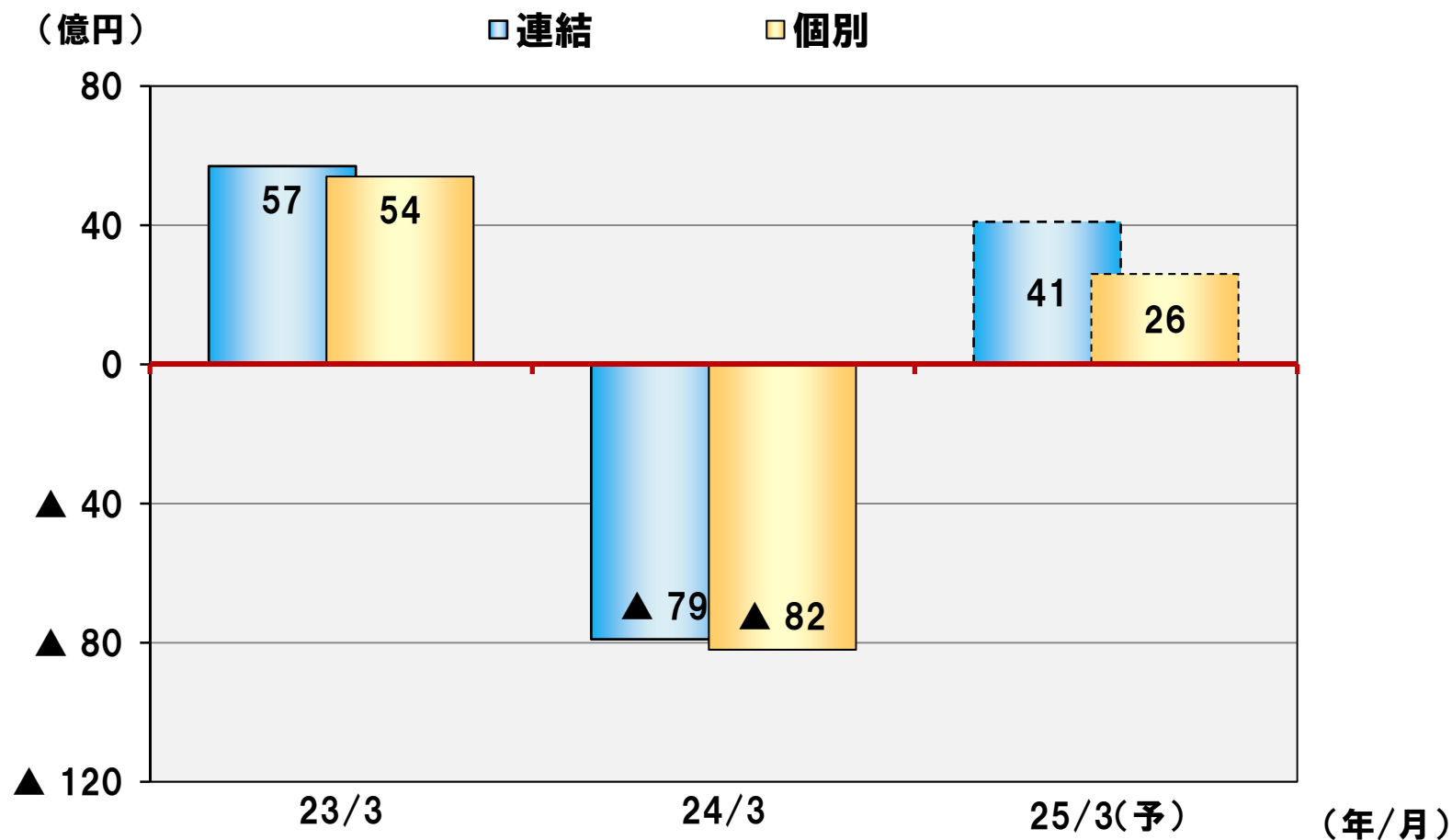


# 【連結】販管費の推移



販管費率	5.5%	4.7%	5.1%
------	------	------	------

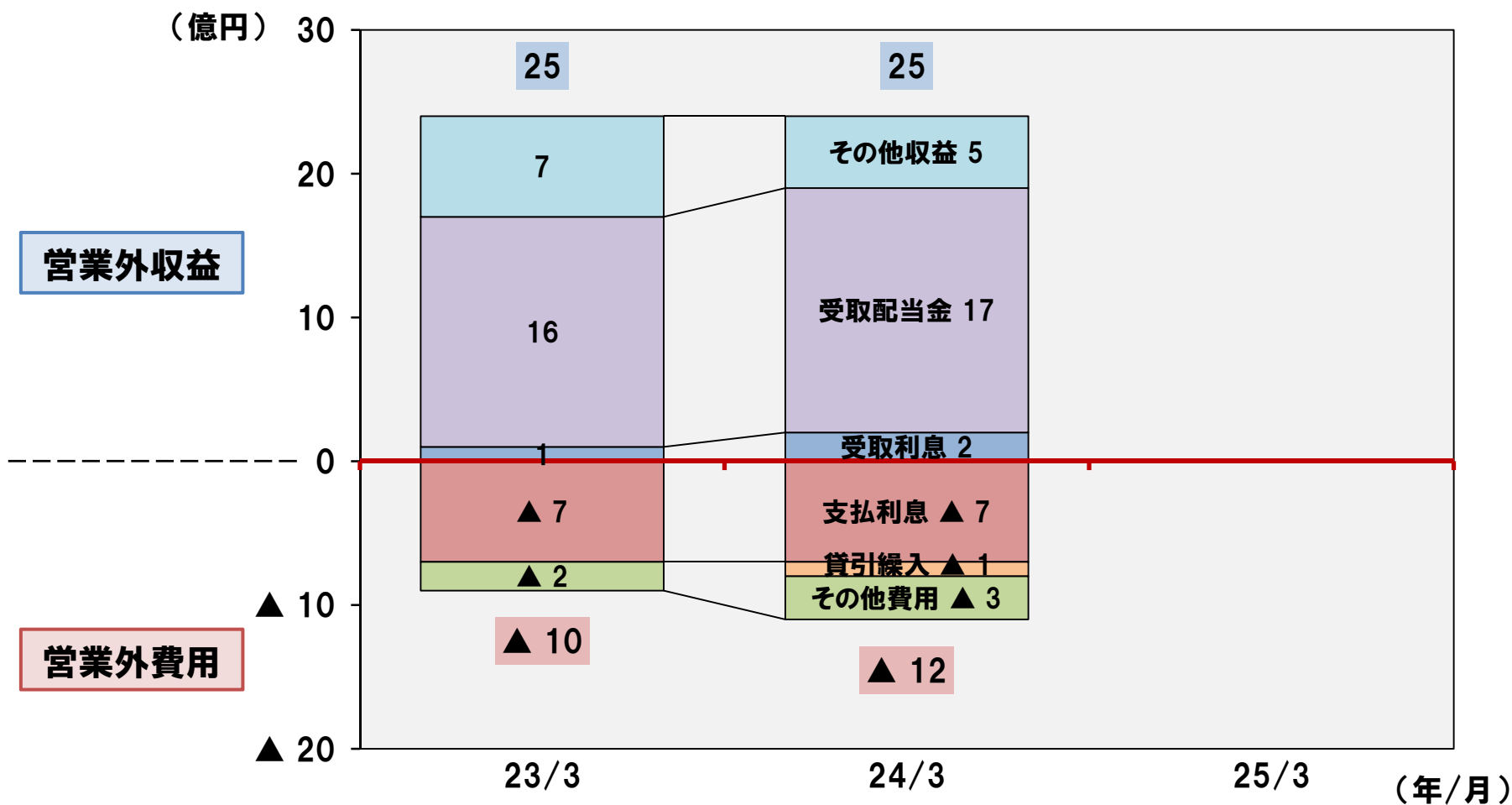
# 【連結】営業利益の推移



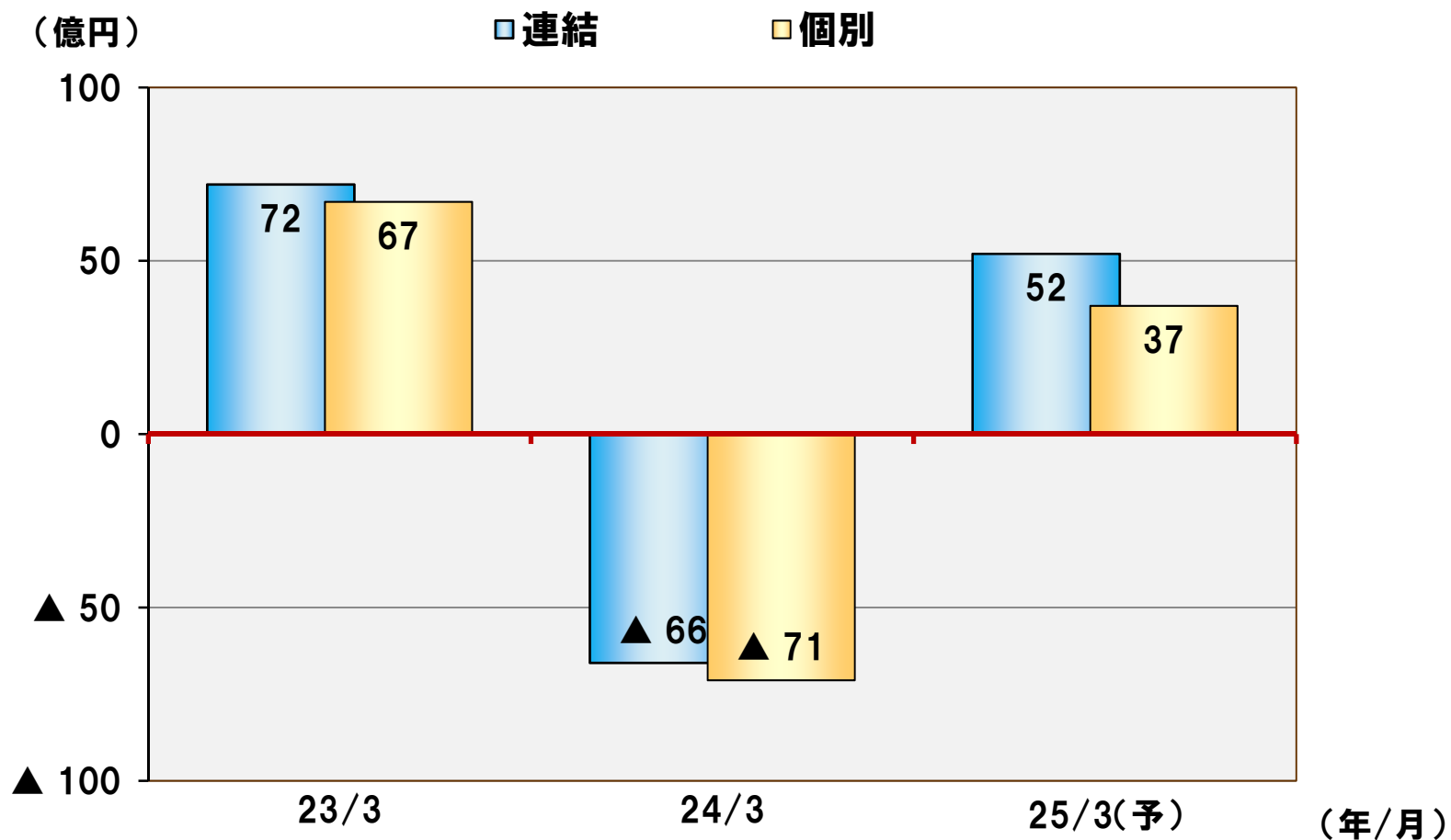
営業利益率	1.3%	▲1.6%	0.9%
-------	------	-------	------

# 【連結】営業外収支の推移

収支差	14	13	11
-----	----	----	----

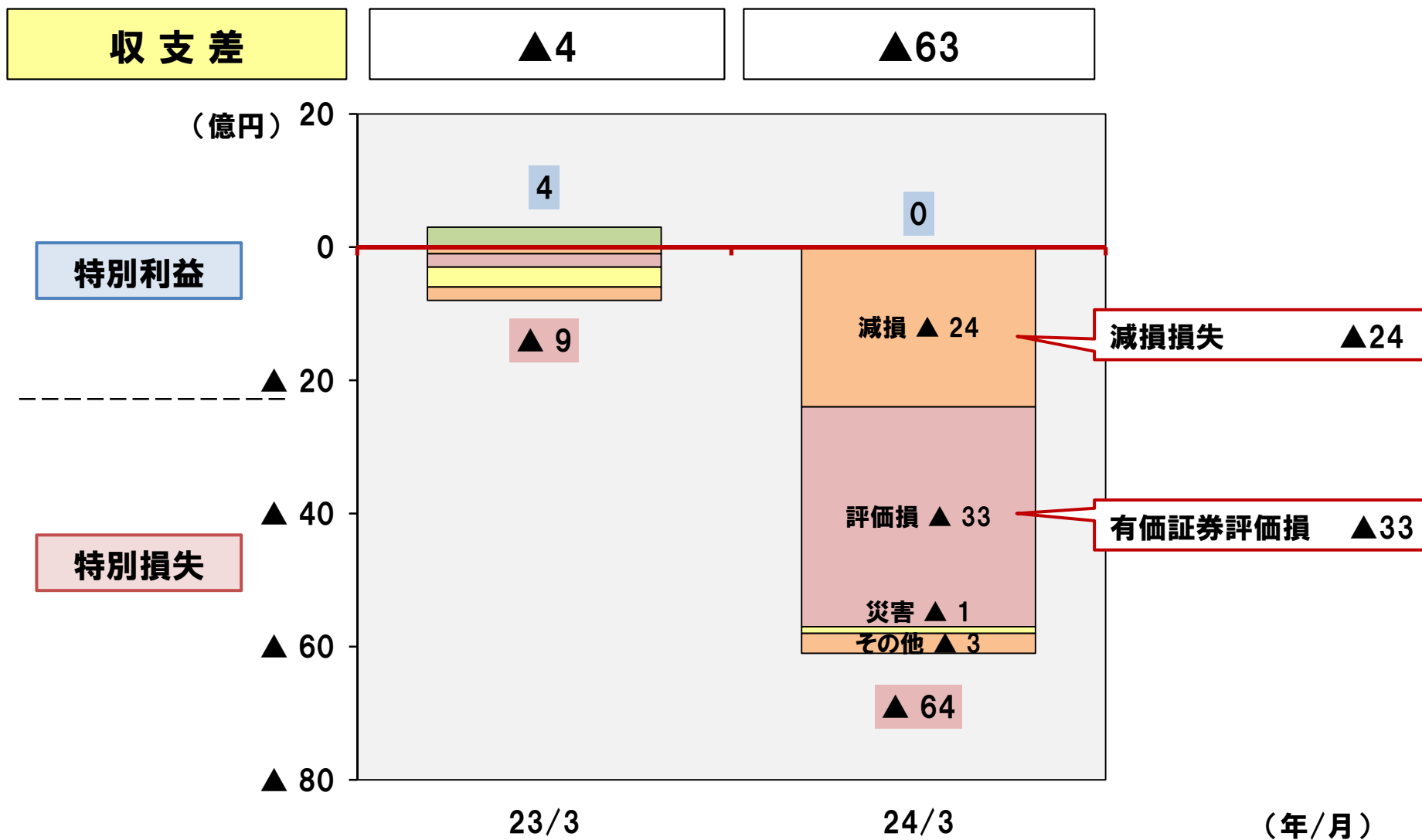


# 【連結】経常利益の推移



経常利益率	1.6%	▲1.4%	1.1%
-------	------	-------	------

# 【連結】特別損益の推移

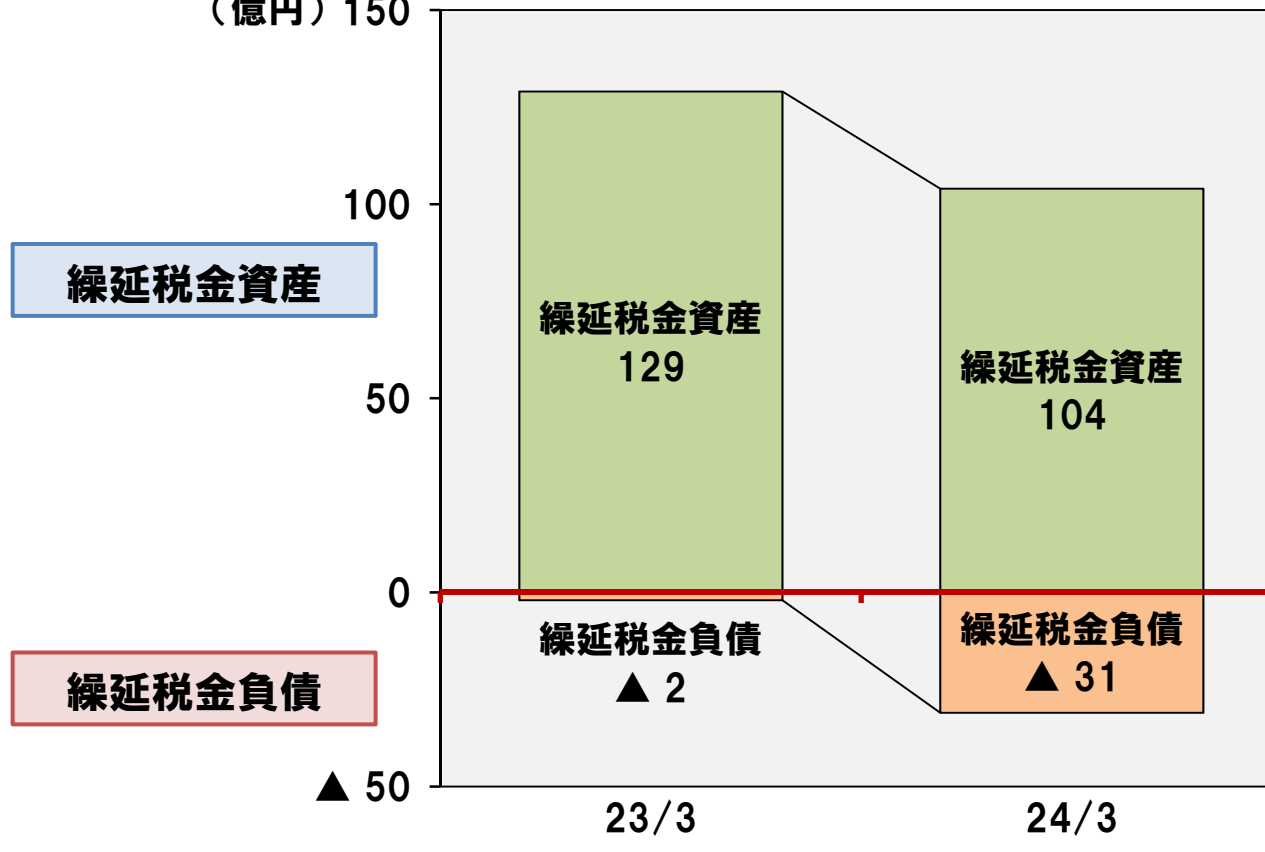


# 【連結】繰延税金資産

【B/S】

【P/L】

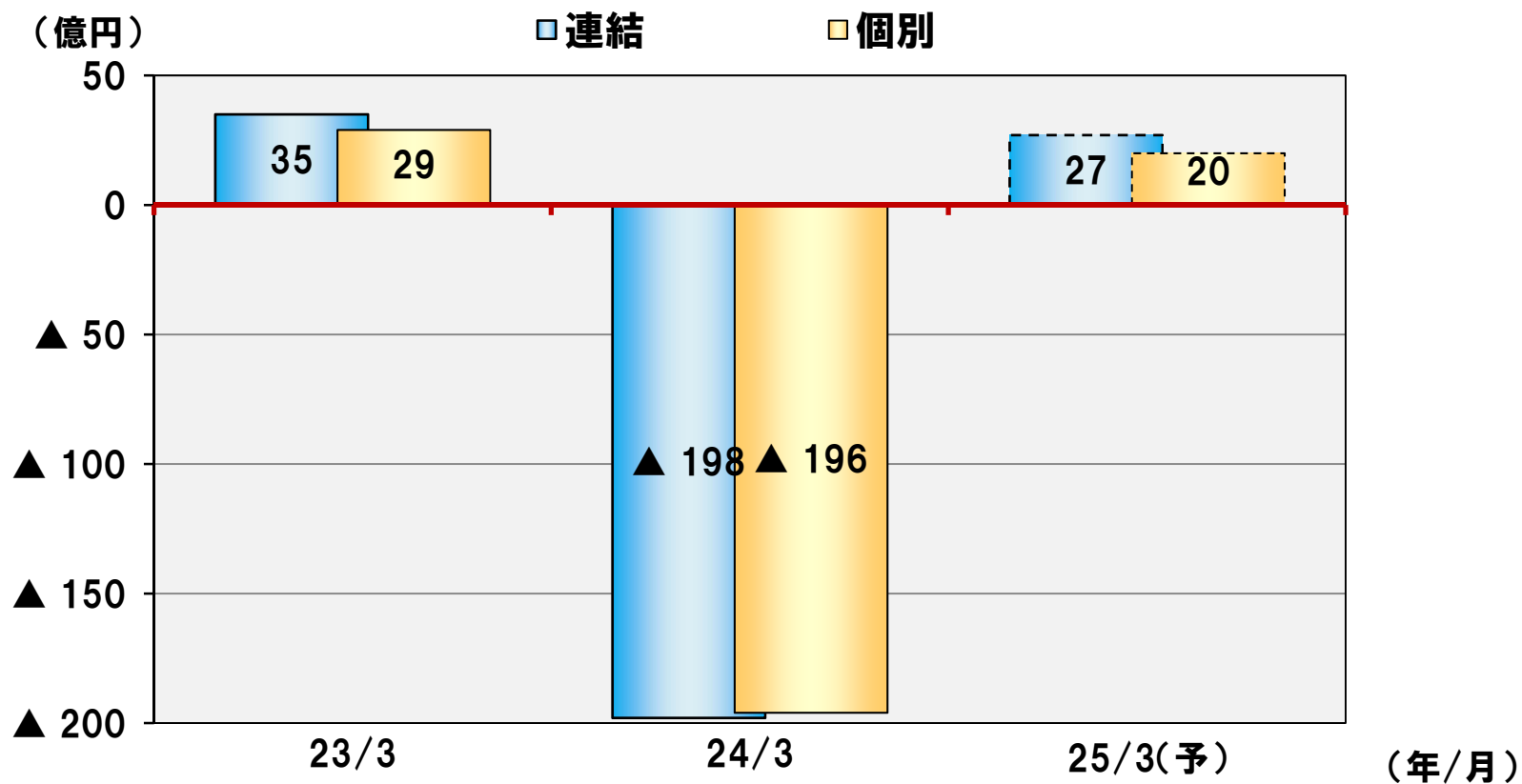
(億円) 150



◎法人税等調整額	
繰延税金資産の減少	25
繰延税金負債の増加	28
<b>増減</b>	<b>53</b>
有価証券評価差額等	14
内部取引消去	▲ 9
<b>計</b>	<b>59</b>
(うち税率変更の影響額)	21)

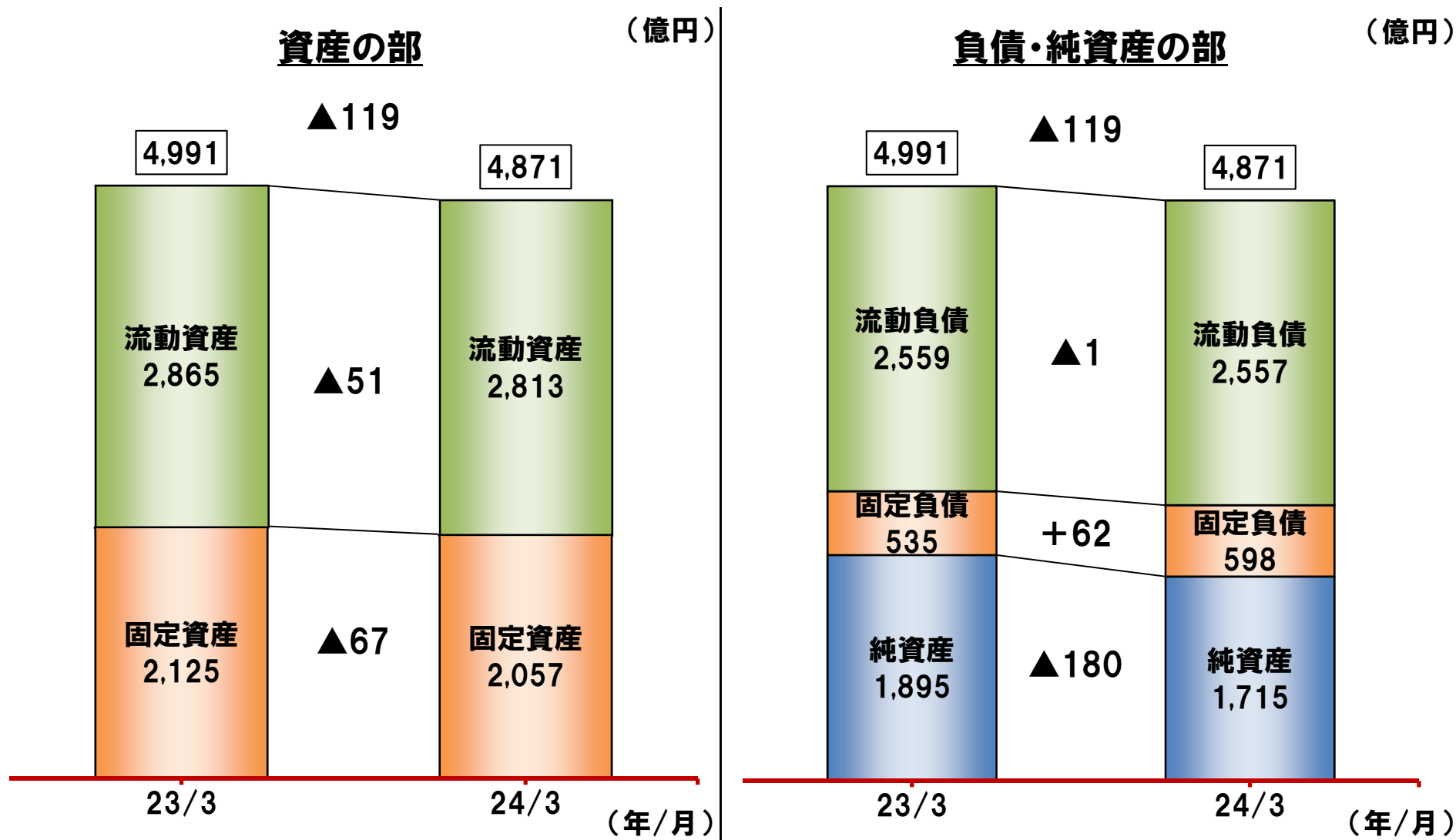
<b>繰延税金資産純額</b>	126	→	72
		▲ 53	

# 【連結】当期純利益の推移



当期純利益率	0.8%	▲4.1%	0.6%
1株当り配当金	7.0円	6.0円	6.0円

# 【連結】連結貸借対照表





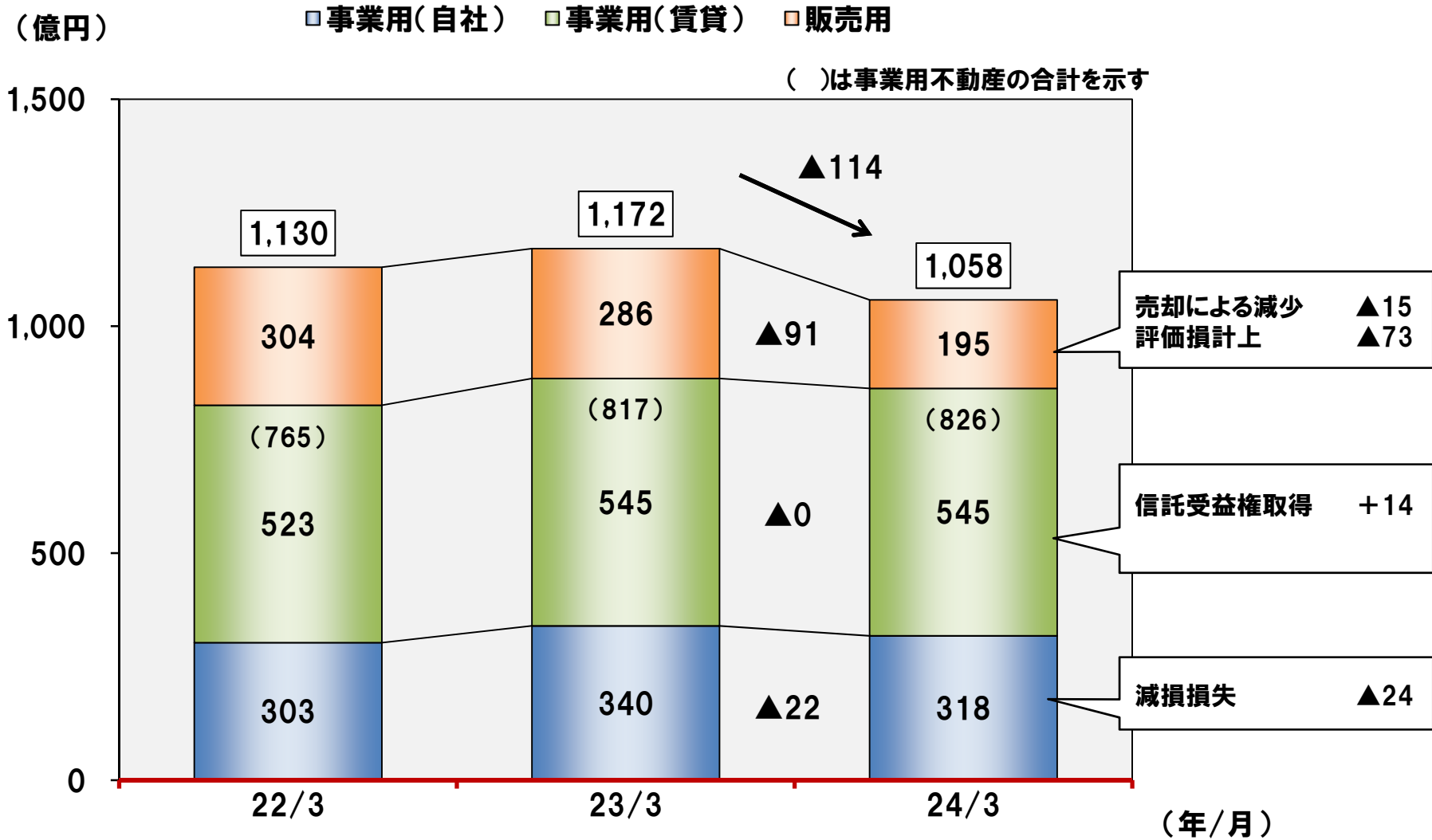
# 【連結】連結貸借対照表 詳細

単位:億円	23/3	24/3	ポイント ( )内は前期比増減額										
(資産の部)													
流動資産	2,865	2,813	<table border="1"> <tr> <td>現金</td> <td>369(▲53)</td> </tr> <tr> <td>受取手形・未収入金</td> <td>1,642(+316)</td> </tr> <tr> <td>未成工事支出金</td> <td>309(▲200)</td> </tr> <tr> <td>販売用不動産</td> <td>195(▲90)</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産</td> <td>102(+29)</td> </tr> </table>	現金	369(▲53)	受取手形・未収入金	1,642(+316)	未成工事支出金	309(▲200)	販売用不動産	195(▲90)	繰延税金資産	102(+29)
現金	369(▲53)												
受取手形・未収入金	1,642(+316)												
未成工事支出金	309(▲200)												
販売用不動産	195(▲90)												
繰延税金資産	102(+29)												
固定資産	2,125	2,057											
有形固定資産	891	873	<table border="1"> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>177(▲3)</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>665(▲25)</td> </tr> </table>	建物・構築物	177(▲3)	土地	665(▲25)						
建物・構築物	177(▲3)												
土地	665(▲25)												
無形固定資産	22	30											
投資その他の資産	1,211	1,154	<table border="1"> <tr> <td>投資有価証券</td> <td>1,107(+4)</td> </tr> <tr> <td>長期繰延税金資産</td> <td>2(▲53)</td> </tr> </table>	投資有価証券	1,107(+4)	長期繰延税金資産	2(▲53)						
投資有価証券	1,107(+4)												
長期繰延税金資産	2(▲53)												
資産合計	4,991	4,871											

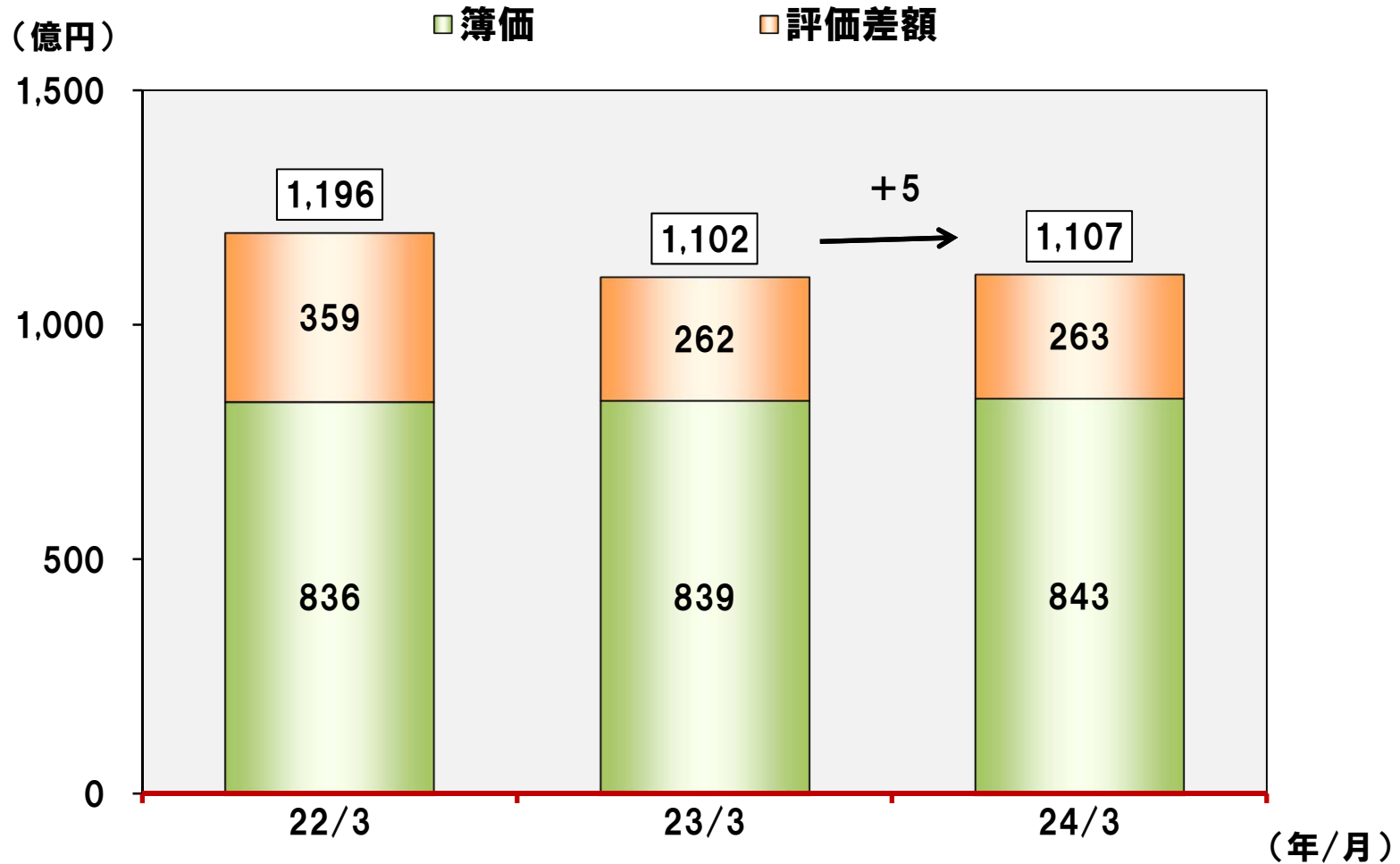
# 【連結】連結貸借対照表 詳細

単位:億円	23/3	24/3	ポイント ( )内は前期比増減額
( 負債の部 )			
流動負債	2,559	2,557	支払手形・未払金 1,327(+146) 短期借入金 370(▲68) 未成工事受入金 412(▲142) 工事損失引当金 140(+47)
固定負債	535	598	長期借入金 204(+62) 繰延税金負債 31(+29) 退職給付引当金 220(▲7)
( 純資産の部 )			
株主資本	1,678	1,462	
評価換算差額等	183	210	利益剰余金 1,037(▲221) 有価証券評価差額 170(+14)
負債・純資産合計	4,991	4,871	

# 【連結】保有不動産の推移

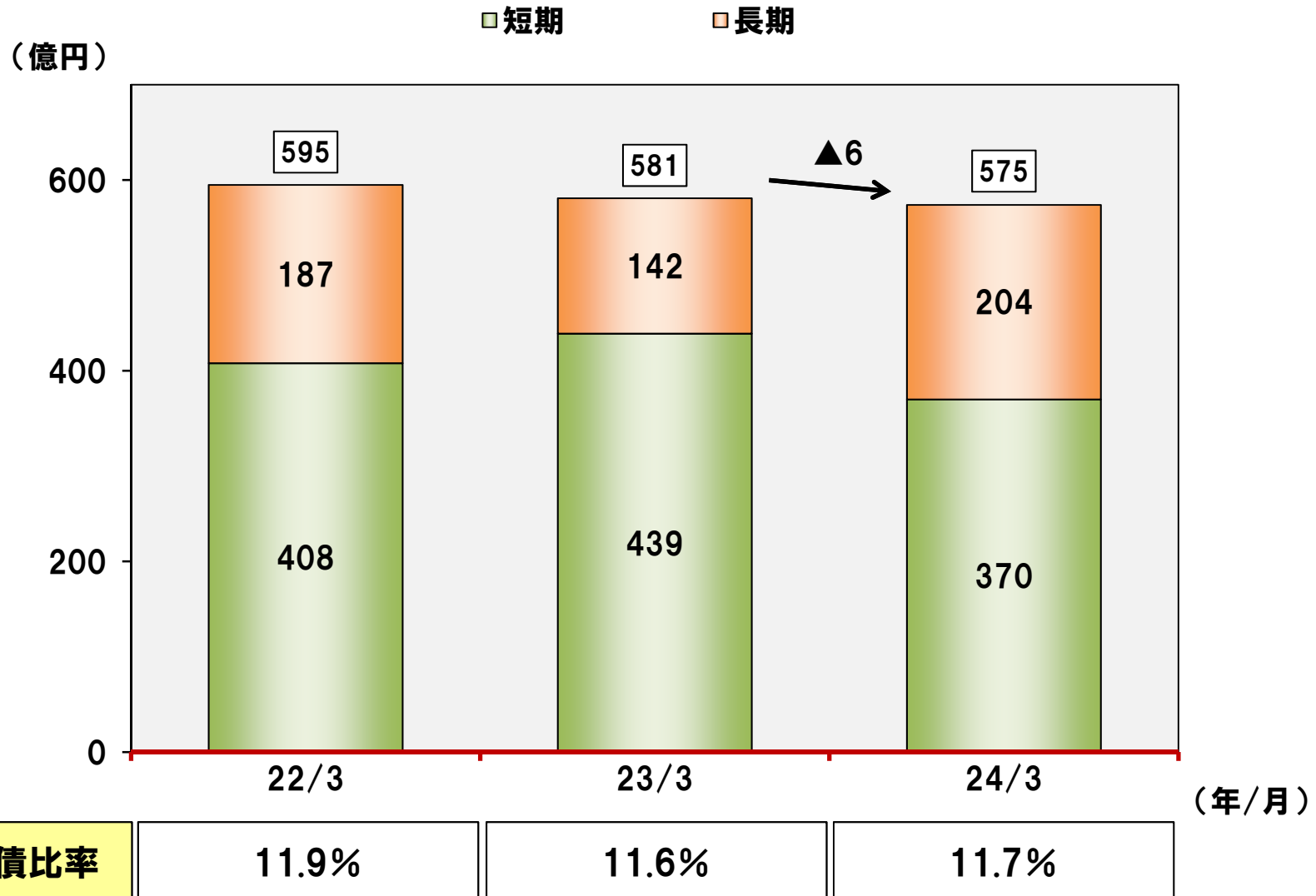


# 【連結】投資有価証券の推移

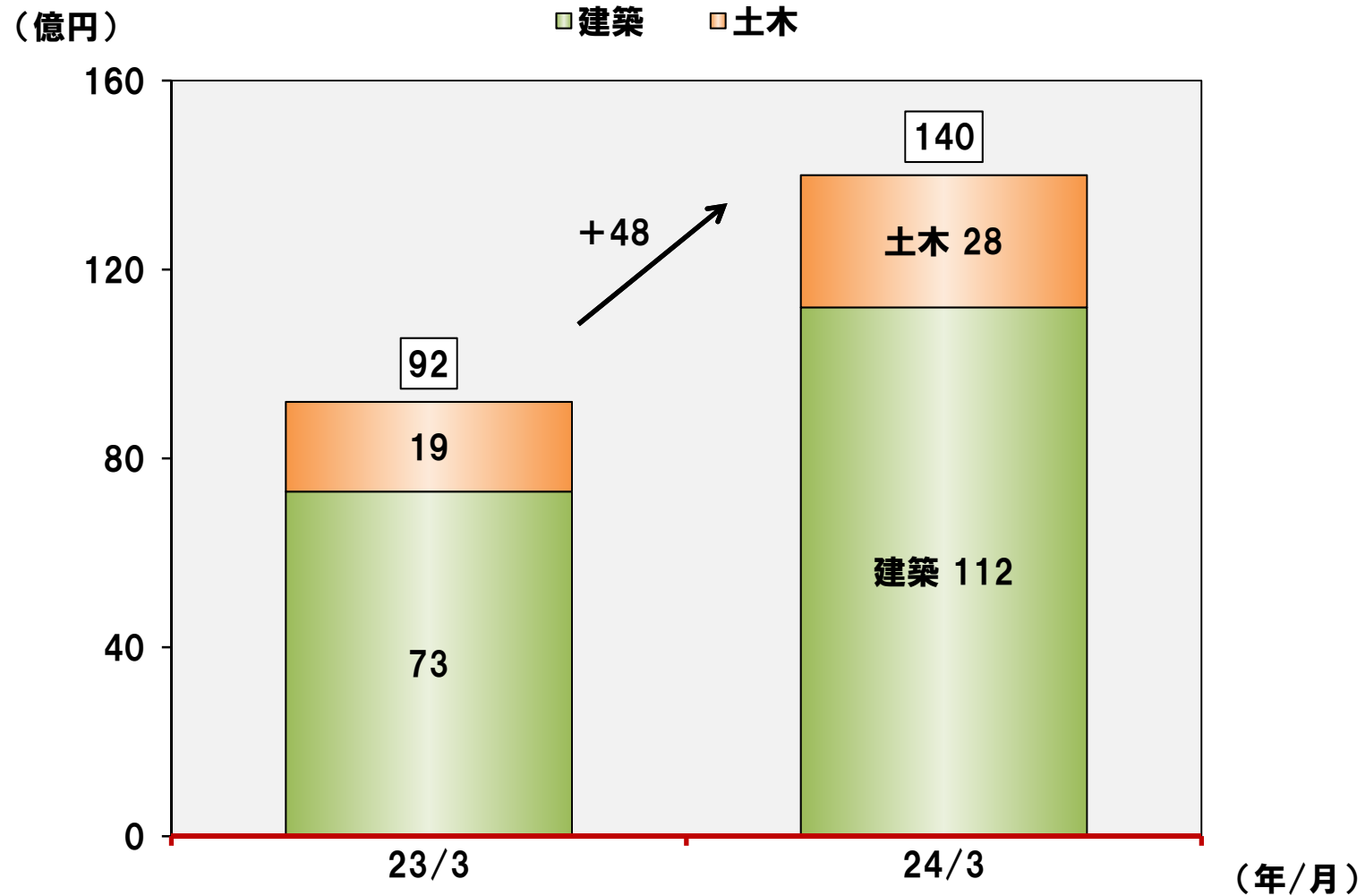


日経平均株価	11,089円	9,755円	10,083円
--------	---------	--------	---------

# 【連結】有利子負債の推移

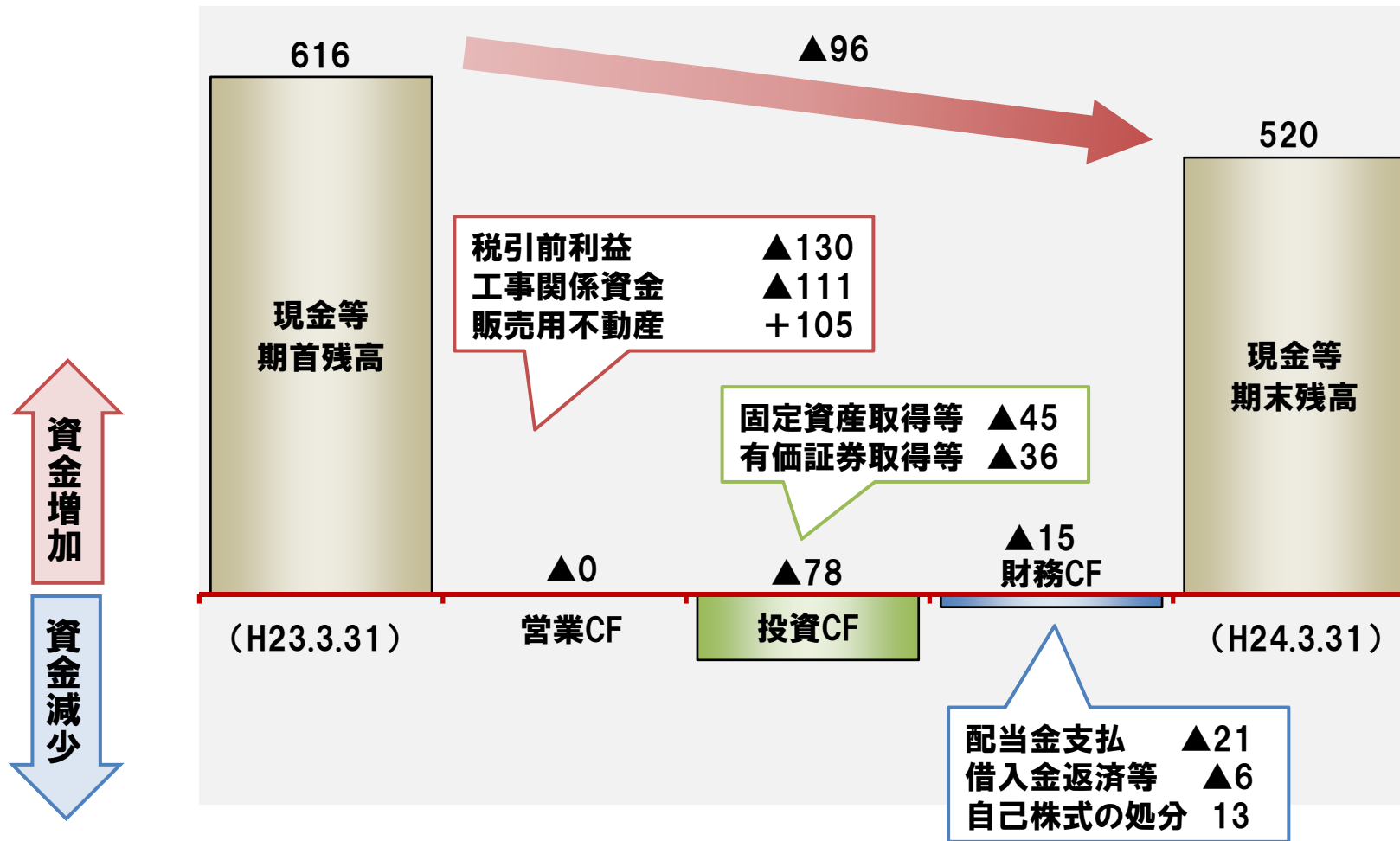


# 【連結】工事損失引当金の推移



# 【連結】キャッシュフロー

(単位:億円)



# 【参考】株価等指標

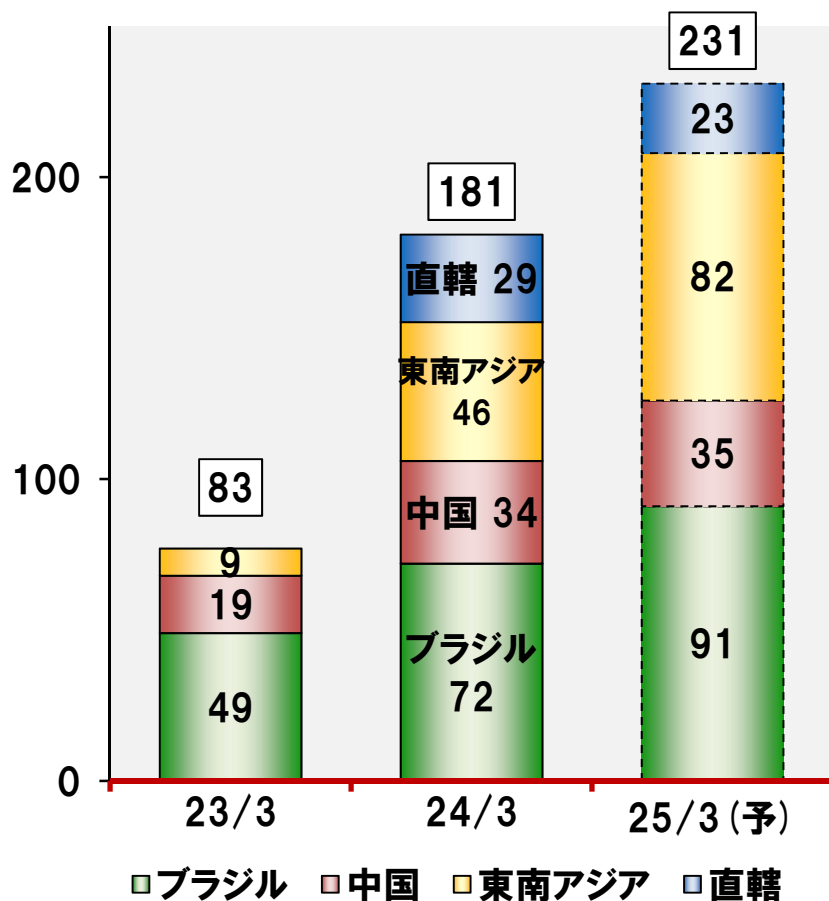
	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3(予)
株価(円)	303	337	329	278	230
1株当たり純資産(円)	563.76	617.42	602.35	537.53	537.53
1株当たり当期純利益(円)	8.10	9.36	11.53	▲64.28	8.67
PER 株価収益率(倍)	37.41	36.00	28.53	28.53	26.52
PBR 株価純資産倍率(倍)	0.53	0.55	0.55	0.52	0.43



# 【参考】海外地域別 売上高・売上総利益 TODA CORPORATION

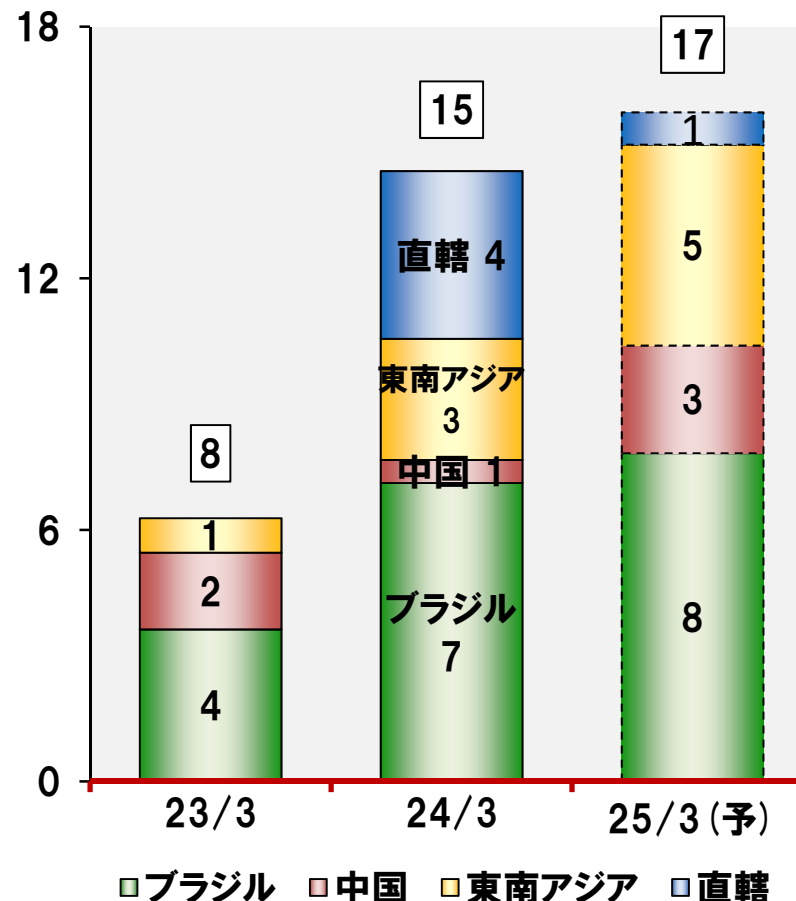
## 海外売上高

(億円)



## 海外売上総利益

(億円)



※東南アジア:タイ・ベトナム・フィリピン

## 1-2. 業績予測

**今後の経済情勢については、緩やかに持ち直すと予想しております。**

**国内においては、震災の復旧・復興関連の官庁工事が増加し、民間需要も回復基調にあるものの、依然、厳しい受注環境が続くものと見ております。**

**平成25年3月期決算にあたっては、利益面の回復に早期に取り組んで参りますが、なおも競争の激化、電力不足や労務費高騰など、収益環境の悪化が懸念されます。**

**なお、今後とも経営環境を注視し、業績への影響が判明した際には、適時開示規則に従い対応させていただきます。**

# 平成25年3月期 決算予測

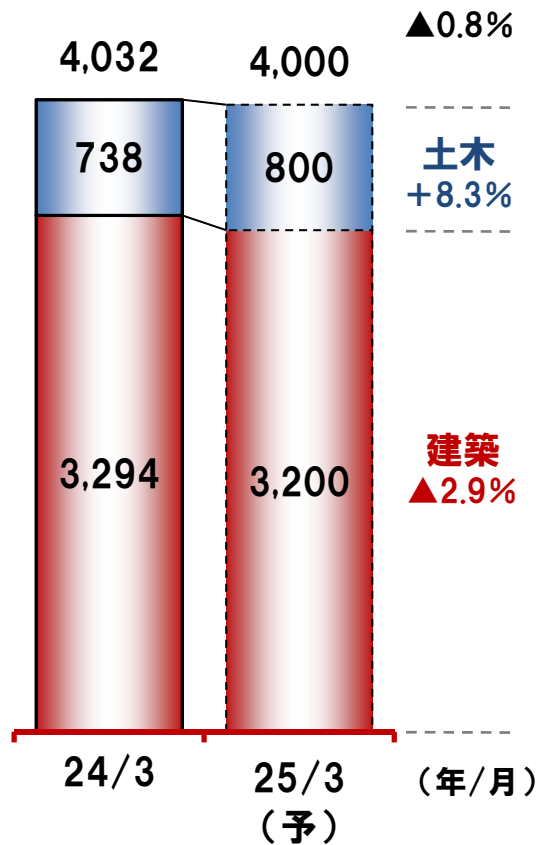
(百万円)

単位:億円	24/3期	25/3期		
		予 測	前期との差	
連結売上高	4,893	4,778	▲2.4%	▲115
営業利益	▲79	41		+120
経常利益	▲66	52		+119
当期純利益	▲198	27		+225
建設受注高(個別)	4,032	4,000	▲0.8%	▲32

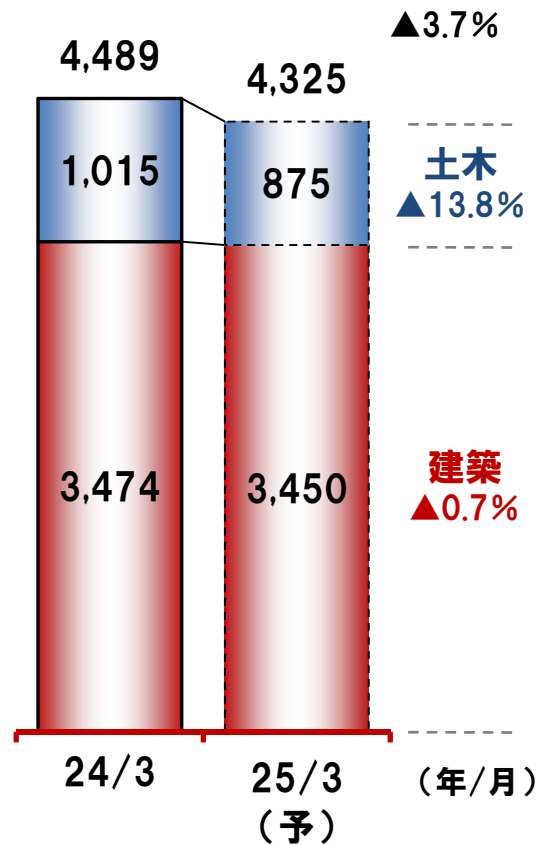
# 【個別】建設事業の業績予測

(単位:億円)

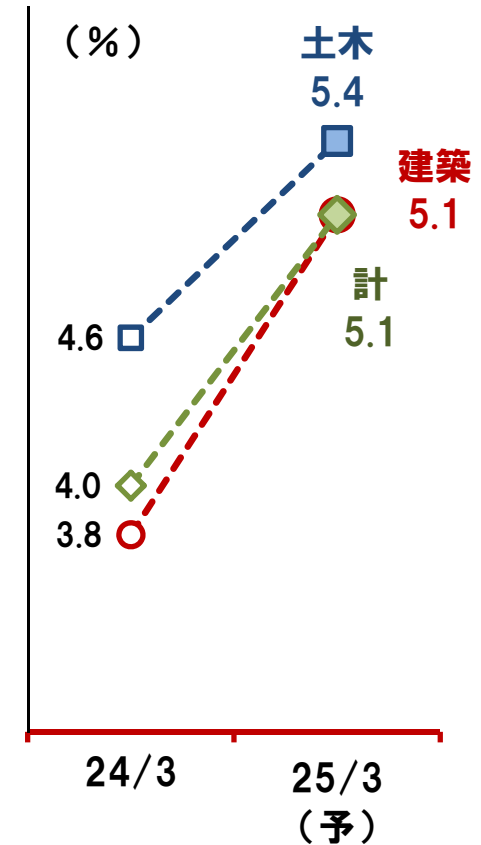
## 建設受注高



## 完成工事高



## 完成工事利益率



## 2. 中期経営計画

代表取締役社長 井上 舜三

## 2-1. 現状と課題

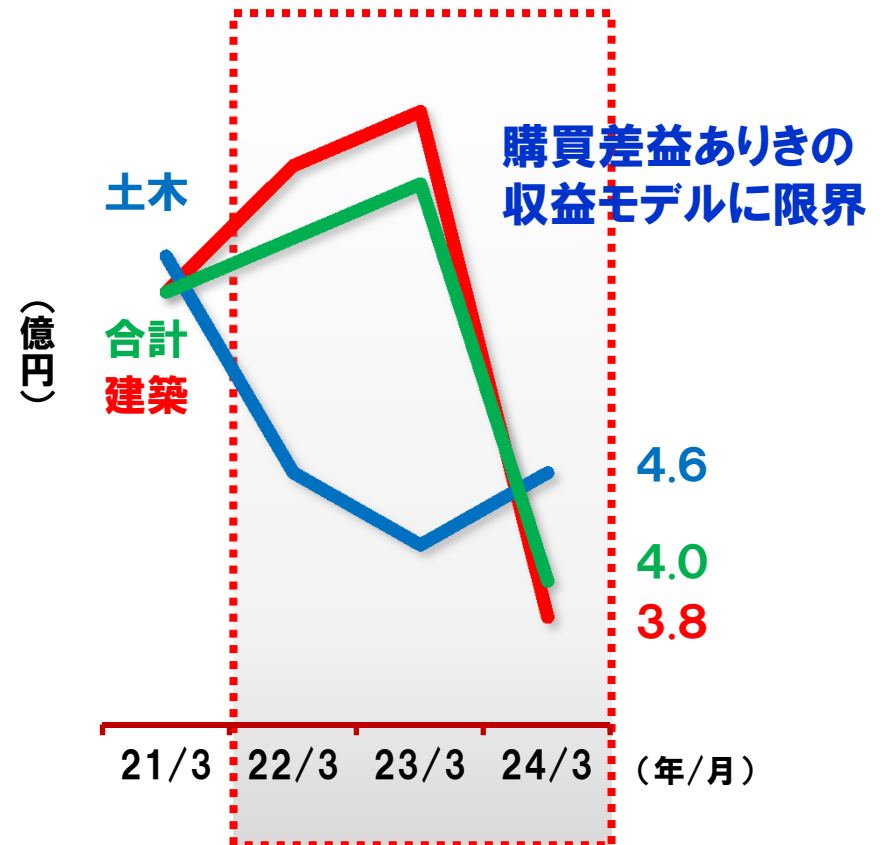
# 環境変化と業績推移

## 建設用材料価格

※資料出所: 日本銀行



## 完成工事利益率（個別）



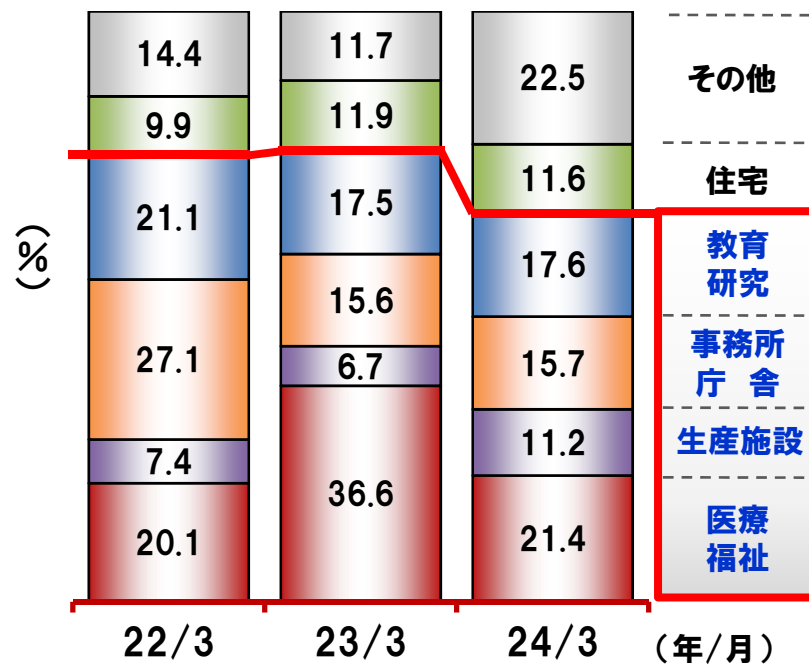


# 前・中期経営計画 主要指標

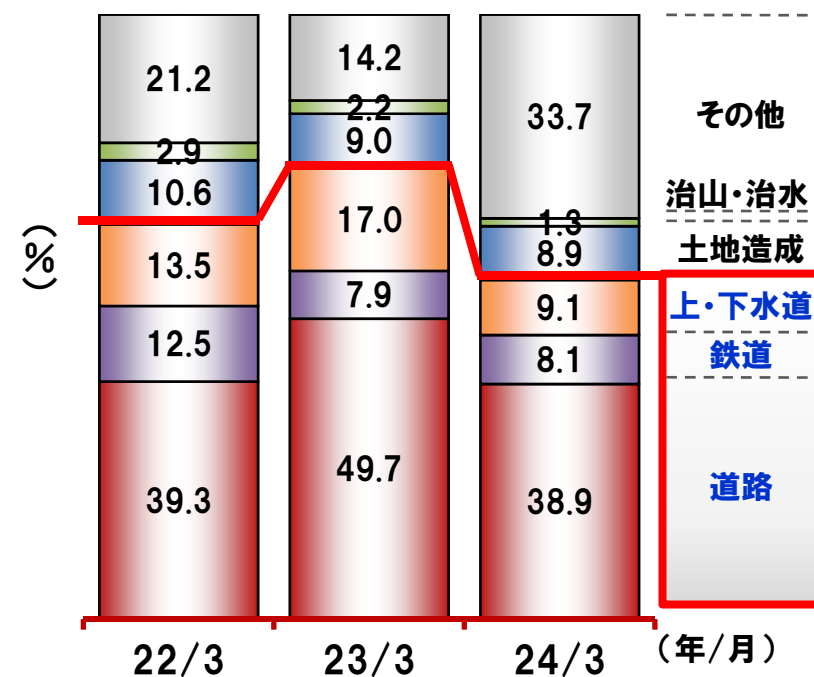
	目標（24/3期）	21/3期	24/3期
リニューアル工事比率 （対 建築完工高）	25%	15%	14%
重点分野受注比率 （建土合計）	70%	68%	64%
海外受注高（連結）	200億円	97億円	215億円
不動産投資額 （計画期間累計）	230億円+α	—	191億円
首都圏売上比率	60%	51%	56%

# 重点分野受注比率（工事種類）

## 建築受注



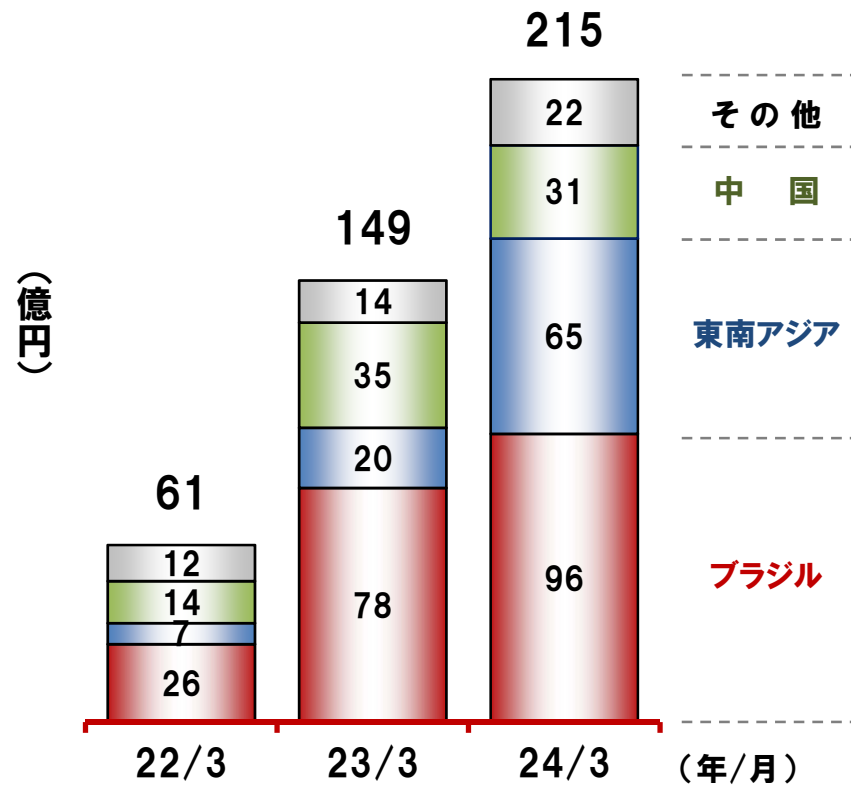
## 土木受注



24/3期は大型流通施設、震災復興工事等の受注により「その他」が増加

# 海外受注高

## 海外受注高（地域別）



ブラジル、東南アジア  
が順調に推移

目標200億円を達成

※ 東南アジア：タイ、ベトナム、フィリピン

環境変化に対する感度不足

案件のつくり込み、追加工事への交渉力の低下

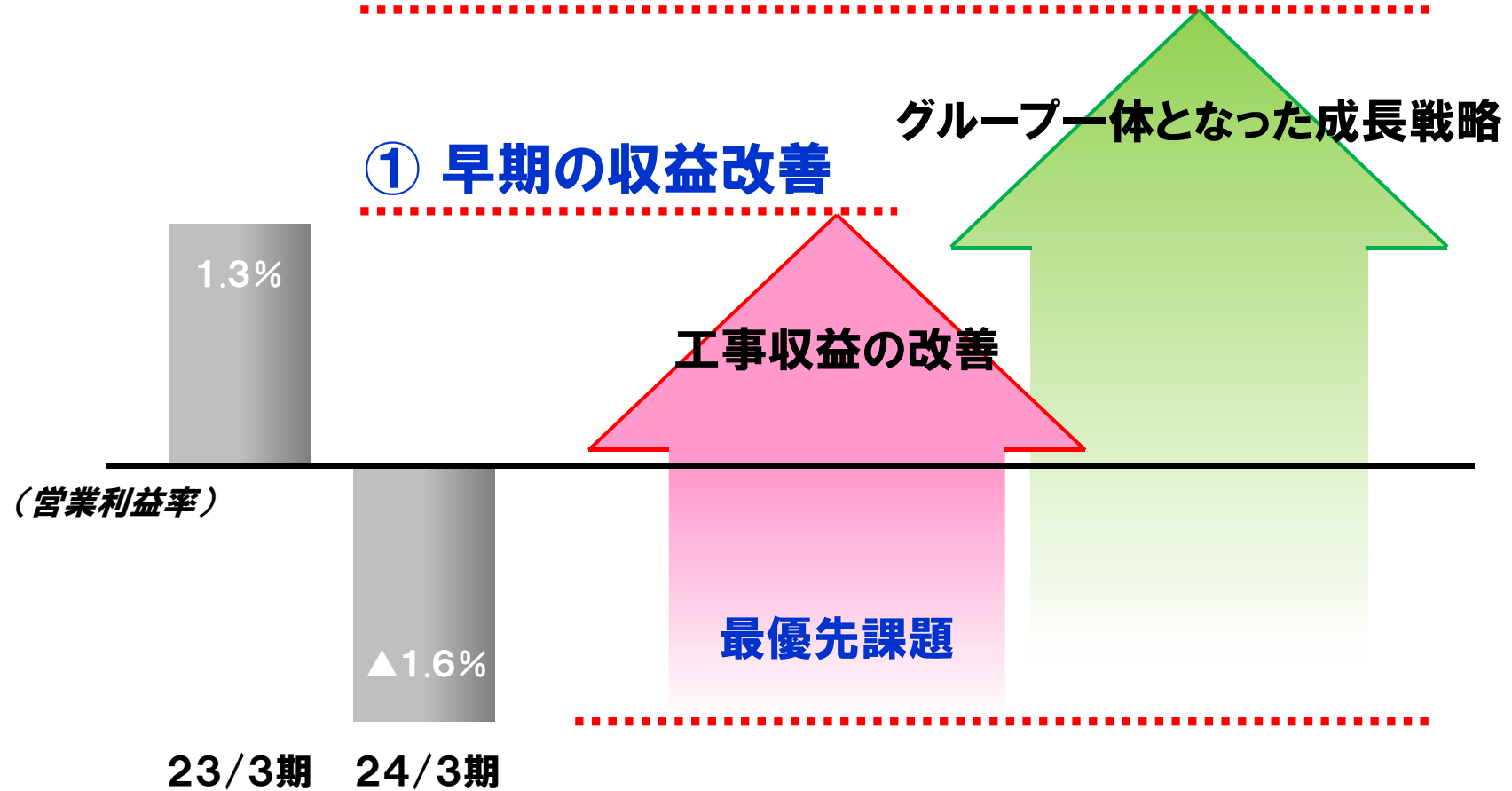
イノベーションの停滞（生産性低下、人手不足等）

不明確な成長シナリオ

# 中期経営計画の基本方針

## ② 新たな価値創造

## ① 早期の収益改善



## 2-2. 工事収益の改善

## 完成工事利益率7%確保を目標に全プロセスを見直し

- 営業・工事一体となった案件精査、リスク管理
- 技術提案、総合評価方式への対応、重点分野の深化
- 原価管理、購買機能の合理化
- 施工段階における不具合、手戻り、無駄ゼロ
- 一般管理費、営業外収支を含めたトータルコスト削減
- 東日本大震災の復興需要への取り組み

# 基盤事業の再生に向けて

## 適正な受注目標のもと、選別受注を徹底

(億円)

	23/3期		24/3期		25/3期
	目標	実績	目標	実績	目標
建築	3,400	3,623	3,700	3,294	3,200
土木	800	822	810	738	800
合計	4,200	4,445	4,510	4,032	4,000



## 2-3. グループ一体となった成長戦略

# ビジョン策定の背景

## 解決すべき社会的課題

ストック社会

インフラ再整備

防 災

グローバル化

地球環境問題

当社グループの顧客基盤

建設の枠にとどまらない、トータルな事業構成力が必要

人がつくる。人でつくる。...

## 新しいこたえをつくる。

「建設」に広がりと深みを。お客さまにとってのベストを追求する。

成長目標：営業利益率 3%以上

### 3つのチャレンジ

#### 施設まるごと

建設ライフサイクルを  
通じて継続的提案

#### 課題まるごと

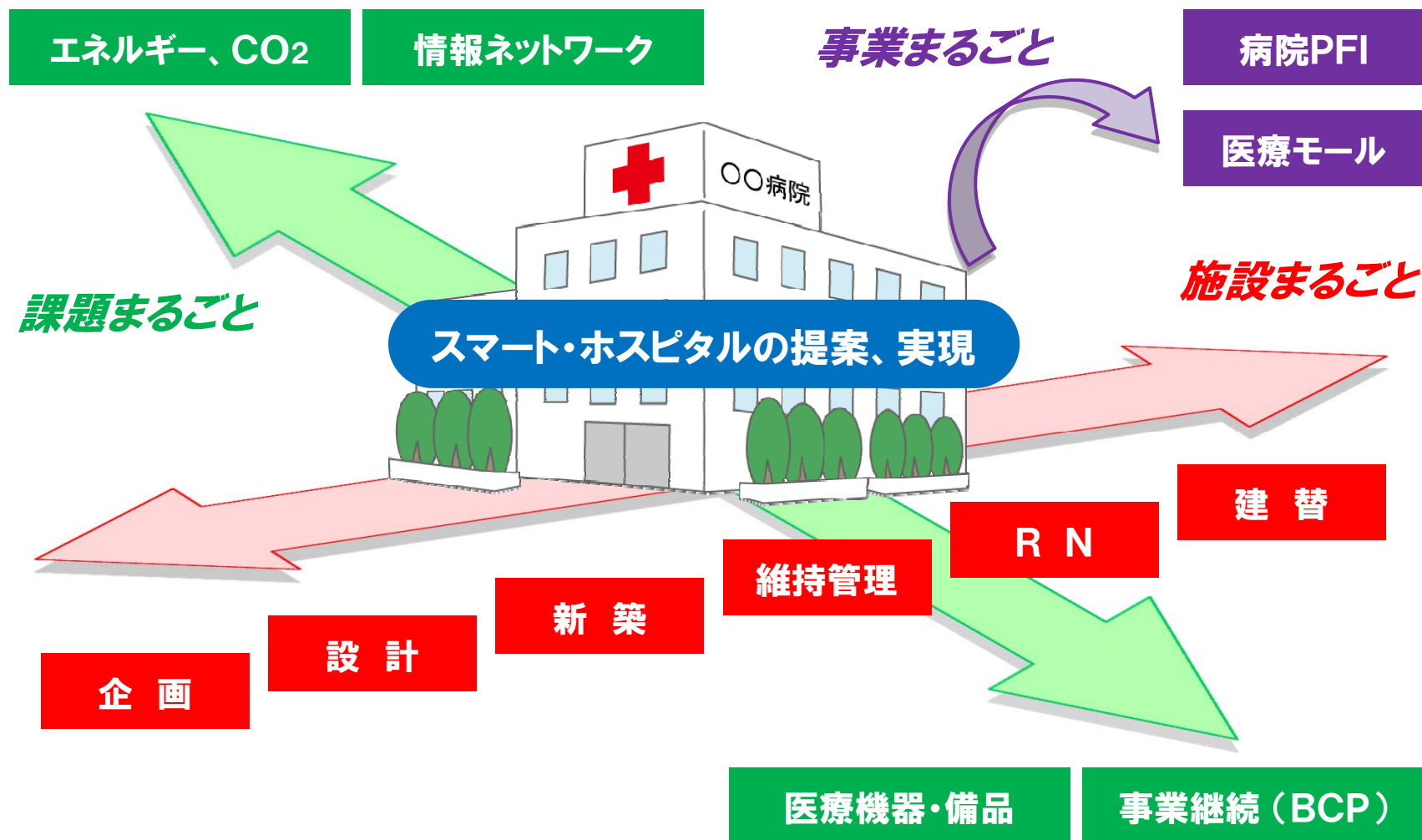
ものづくりと仕組みづくり  
の両面から貢献

#### 事業まるごと

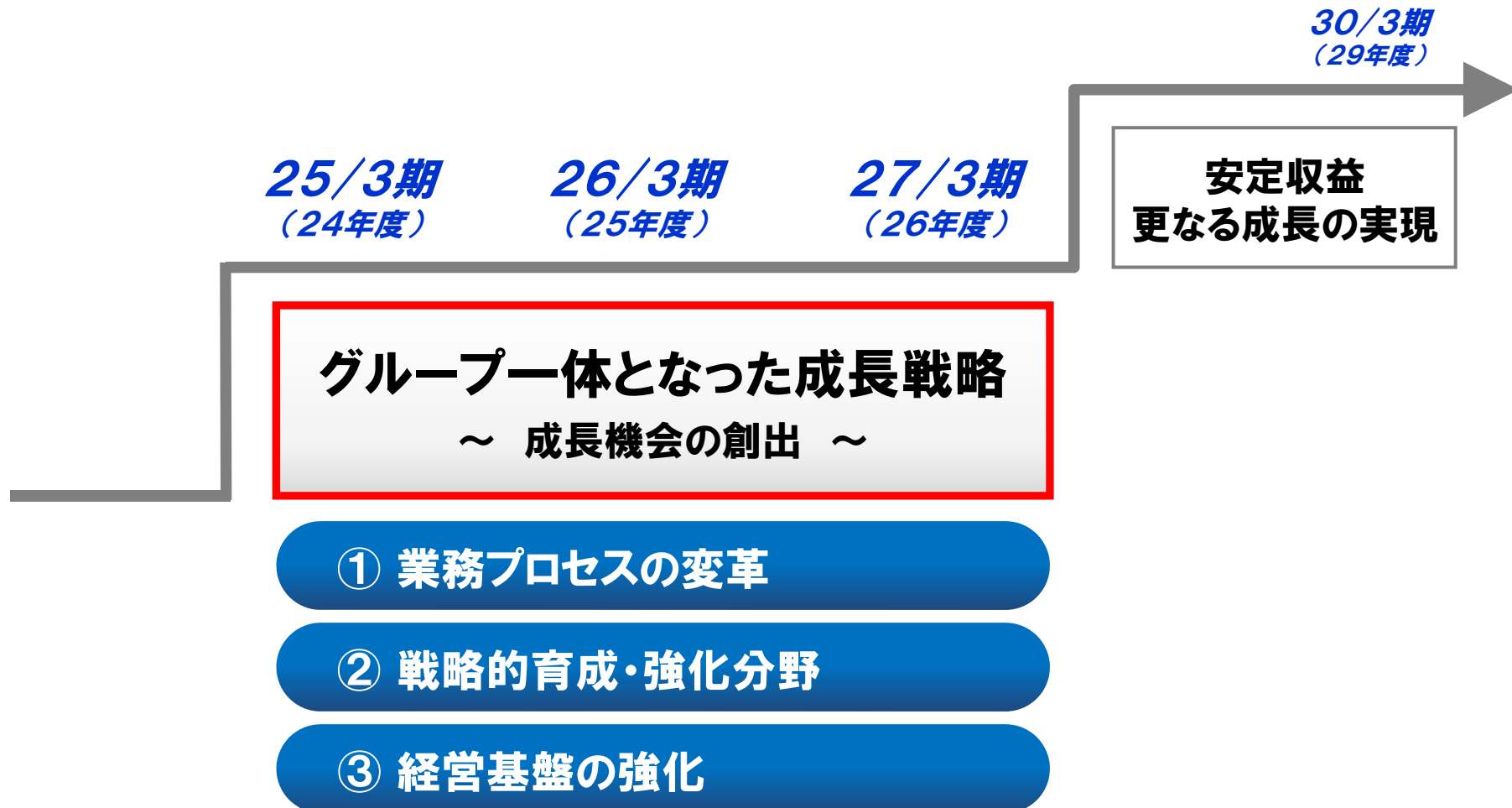
事業企画から事業展開  
まで一貫して実践

※ お客さま：発注者、エンドユーザー

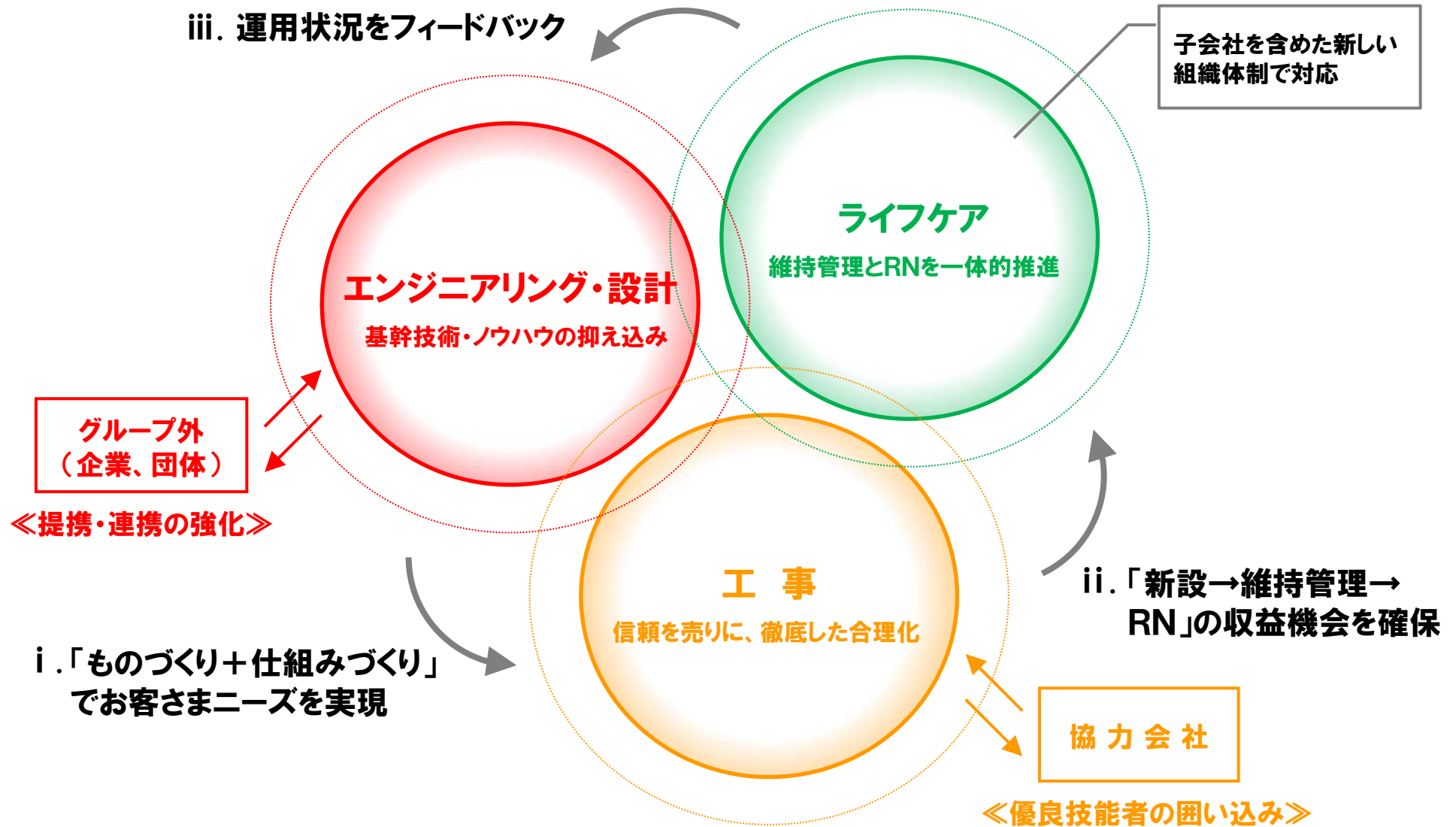
# 「まるごと」の実践イメージ（例：病院）



# 今後3年間の位置付け



# ① 業務プロセスの変革



「単品・売り切り」モデルからの転換

優良技能者の囲い込みの推進

グループ外の企業や団体との提携・連携

## ② 戦略的育成・強化分野

海外	投資事業 (不動産、PFI・PPP)	環境・エネルギー
<p><b>27/3期目標</b> 海外売上高 <b>350</b>億円</p> <p><b>中長期目標</b> 海外売上高 <b>500</b>億円</p>	<p><b>27/3期目標</b> 不動産等利益 <b>40</b>億円</p> <p><b>中長期目標</b> 不動産等利益 <b>50</b>億円</p>	<p>建設受注への貢献 度の向上</p> <p>再生可能エネルギー の事業化</p>

※24/3期：180億円程度

※24/3期：30億円程度（評価損失除く）



## ブラジル、東南アジア+中国、西アフリカの3拠点体制



## 有効活用とともに、每期50億円程度の新規投資

### 有効活用

- 賃貸稼働率の向上
- 修繕、建替、再開発等

### 新規投資

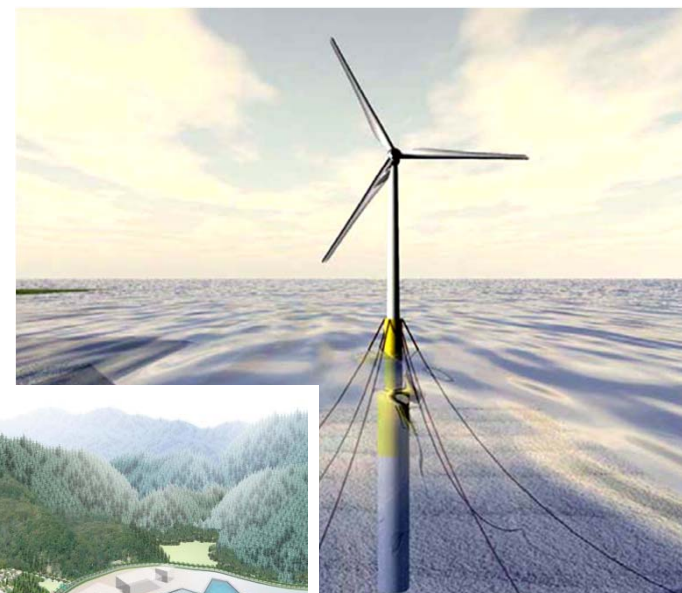
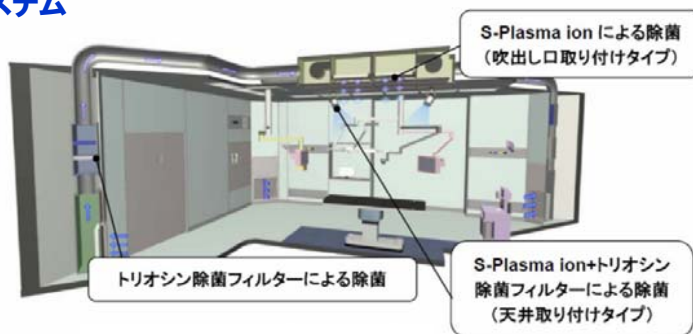
- 収益不動産への新規投資  
每期 **50億円程度**  
不動産投資諮問会議の設置

- 建設事業、建物管理業との協同

**(売却・整理)**

## 異業種コラボ、再生可能エネルギーへの取り組み強化

### 除菌空調システム



浮体式洋上風力発電

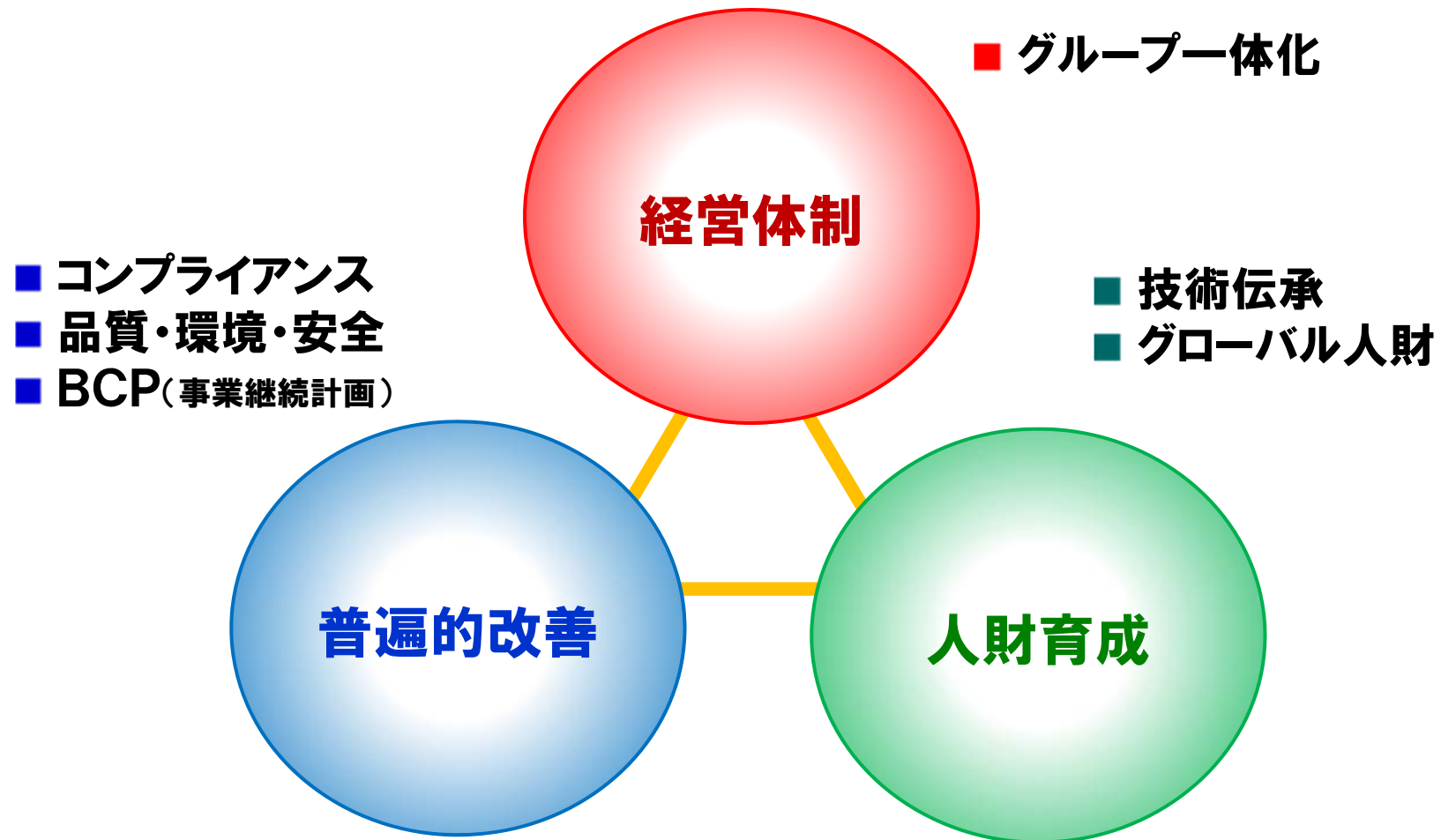


タスク&アンビエント照明技術



環境配慮型都市(震災復興)

### ③ 経営基盤の強化



## 2-4. 業績目標等

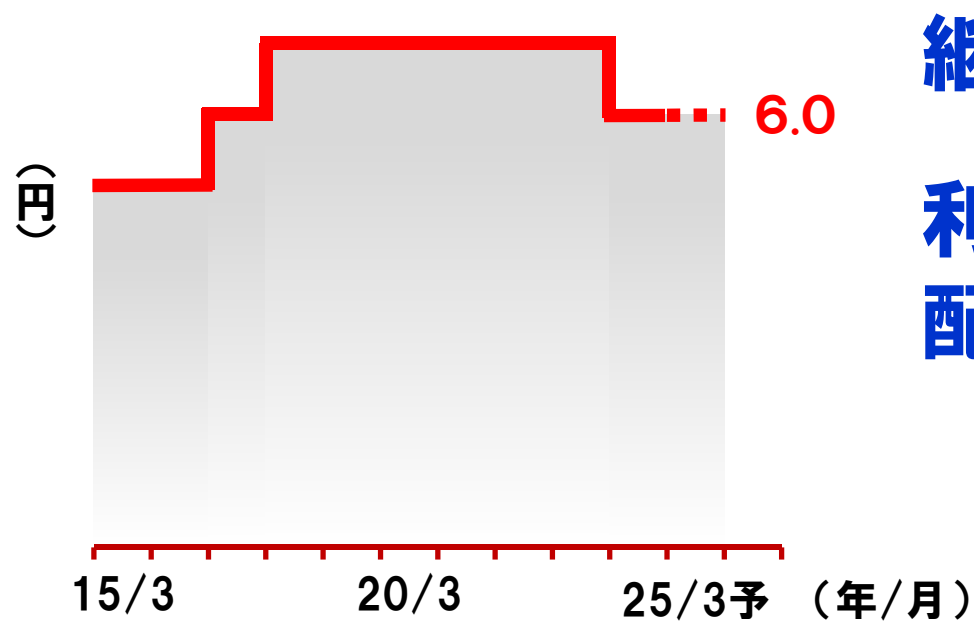
# 業績目標

(億円)

	23/3期 実績	24/3期 実績	27/3期 目標	中長期 目標
連結売上高	4,524	4,893	5,000 程度	—
営業利益(率)	57 (1.3%)	▲79 (▲1.6%)	2.0% 以上	3.0% 以上

# 株主還元の方針

## 1株当たりの配当金



**継続的な安定配当**

**利益成長にあわせた  
配当水準を検討**

# 原点回帰



人がつくる。人でつくる。

